

注3

大学番号：私198

[平成22年度設置]

計画の区分：大学の学部を設置

注1

認可

東京工科大学
デザイン学部、医療保健学部

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 片柳学園
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名	シムキョクジチョウ 事務局次長	タナカ ユウスケ 田中 祐輔
職名・氏名	シムキョクギョウムカカチョウ 事務局業務課課長	ハヤカワ カズミ 早川 和美
電話番号	042-637-2111	
(夜間)	042-692-4256	
F A X	042-637-2112	
e-mail	hachi-gyoumu@so.teu.ac.jp	

(注) 1 「計画の区分」は認可時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

	ページ
1 調査対象大学等の概要等	1
2 授業科目の概要	11
3 施設・設備の整備状況, 経費	43
4 既設大学等の状況	46
5 教員組織の状況	47
6 留意事項に対する履行状況等	75
7 その他全般的事項	78

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 片柳学園

(2) 大学名

東京工科大学

(3) 大学の位置

〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22
 (〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(かたやなぎ こう) 片柳 鴻 (昭和31年7月)		
学長	(かるべ いさお) 軽部 征夫 (平成20年6月)		
デザイン学部 学部長	(みやした やすひろ) 宮下 安弘 (平成22年4月)		
医療保健学部 学部長	(やなぎさわ のぶお) 柳澤 信夫 (平成22年4月)		
医療保健学部 看護学科 学科長	(ささき じゅんこ) 佐々木 順子 (平成22年4月)		
医療保健学部 臨床工学科 学科長	(やまうら とみお) 山浦 富雄 (平成22年4月)		
医療保健学部 理学療法学科 学科長	(いとう なおえい) 伊藤 直榮 (平成22年4月)	(なかやま たかし) 中山 孝 (平成22年4月)	●●●●が平成21年11月に死亡したため(22)
医療保健学部 作業療法学科 学科長	(やなぎさわ のぶお) 柳澤 信夫 (平成22年4月)	(やまざき いくこ) 山崎 郁子 (平成24年4月)	作業療法学科長任期満了により、平成24年度から変更(24)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成24年度に報告する内容 → (24)

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・ 大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成21年度開設の4年制の学科の場合(平成24年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

<デザイン学部>

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
デザイン学部 デザイン学科 学士(デザイン)	4年	200人	— 年次人	800人	

<医療保健学部>

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医療保健学部 看護学科 学士(看護学)	4年	80人	— 年次人	320人	
臨床工学科 学士(臨床工学)	4年	80人	—	320人	
理学療法学科 学士(理学療法学)	4年	80人	—	320人	
作業療法学科 学士(作業療法学)	4年	40人	—	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

<デザイン学部 デザイン学科>

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	200人 () [-]	—人 () [-]	200人 () [-]	—人 () [-]	200人 () [-]	—人 () [-]	—人 () [-]	—人 () [-]	0.99倍	
志願者数	494 () [1]	— () [-]	504 () [-]	— () [-]	535 (2) [1]	— () [-]	— () [-]	— () [-]		
受験者数	464 () [1]	— () [-]	488 () [-]	— () [-]	507 (2) [1]	— () [-]	— () [-]	— () [-]		
合格者数	320 () [1]	— () [-]	361 () [-]	— () [-]	451 (2) [1]	— () [-]	— () [-]	— () [-]		
B 入学者数	213 () [1]	— () [-]	193 () [-]	— () [-]	192 (2) [1]	— () [-]	— () [-]	— () [-]		
入学定員超過率 B/A	1.06		0.96		0.97					

<医療保健学部 看護学科>

区分	対象年度 平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80人 (-) [-]	一人 (-) [-]	80人 (-) [-]	一人 (-) [-]	80人 (-) [-]	一人 (-) [-]	人 () []	人 () []	1.06倍	
志願者数	628 (-) [-]	- (-) [-]	1,184 (-) [-]	- (-) [-]	1,885 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []		
受験者数	586 (-) [-]	- (-) [-]	1,129 (-) [-]	- (-) [-]	1,793 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []		
合格者数	148 (-) [-]	- (-) [-]	177 (-) [-]	- (-) [-]	191 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []		
B 入学者数	87 (-) [-]	- (-) [-]	86 (-) [-]	- (-) [-]	84 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.08		1.07		1.05					

<医療保健学部 臨床工学科>

区分	対象年度 平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80人 (-) [-]	一人 (-) [-]	80人 (-) [-]	一人 (-) [-]	80人 (-) [-]	一人 (-) [-]	人 () []	人 () []	1.06倍	
志願者数	247 (-) [-]	- (-) [-]	637 (-) [3]	- (-) [-]	921 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []		
受験者数	234 (-) [-]	- (-) [-]	609 (-) [2]	- (-) [-]	895 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []		
合格者数	145 (-) [-]	- (-) [-]	188 (-) [2]	- (-) [-]	182 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []		
B 入学者数	82 (-) [-]	- (-) [-]	89 (-) [2]	- (-) [-]	84 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.02		1.11		1.05					

<医療保健学部 理学療法学科>

区分	対象年度 平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80人 (-) [-]	一人 (-) [-]	80人 (-) [-]	一人 (-) [-]	80人 (-) [-]	一人 (-) [-]	人 () []	人 () []	1.05倍	
志願者数	628 (-) [-]	- (-) [-]	1,076 (-) [-]	- (-) [-]	1,530 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []		
受験者数	598 (-) [-]	- (-) [-]	1,041 (-) [-]	- (-) [-]	1,490 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []		
合格者数	154 (-) [-]	- (-) [-]	188 (-) [-]	- (-) [-]	198 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []		
B 入学者数	81 (-) [-]	- (-) [-]	85 (-) [-]	- (-) [-]	87 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.01		1.06		1.08					

<医療保健学部 作業療法学科>

区分	対象年度 平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40人 () [-]	一人 () [-]	40人 () [-]	一人 () [-]	40人 () [-]	一人 () [-]	人 () []	人 () []	1.04倍	
志願者数	128 () [-]	— () [-]	301 () [-]	— () [-]	446 () [-]	— () [-]	() () []	() () []		
受験者数	122 () [-]	— () [-]	296 () [-]	— () [-]	418 () [-]	— () [-]	() () []	() () []		
合格者数	68 () [-]	— () [-]	93 () [-]	— () [-]	99 () [-]	— () [-]	() () []	() () []		
B 入学者数	41 () [-]	— () [-]	42 () [-]	— () [-]	42 () [-]	— () [-]	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.02		1.05		1.05					

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入**してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

<デザイン学部 デザイン学科>

学年	対象年度 平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] 213	[-] —	[-] 206	[-] —	[1] 210	[-] —	[]	[]	
2年次	/		[1] 196	[-] —	[-] 183	[-] —	[]	[]	
3年次			/		/		[1] 184	[-] —	
4年次	/						/		
計			[1] 213	[]	[1] 402	[]			

<医療保健学部 看護学科>

学 年	対象年度 平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 87	[-] -	[-] 87	[-] -	[-] 84	[-] -	[]	[]	
2年次	/		[-] 85	[-] -	[-] 87	[-] -	[]	[]	
3年次			/		/		[-] 81	[-] -	[]
4年次	/						/		/
計			[-] 87	[-]	[-] 172	[-]			

<医療保健学部 臨床工学科>

学 年	対象年度 平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 82	[-] -	[2] 89	[-] -	[-] 84	[-] -	[]	[]	
2年次	/		[-] 80	[-] -	[2] 89	[-] -	[]	[]	
3年次			/		/		[-] 74	[-] -	[]
4年次	/						/		/
計			[-] 82	[-]	[2] 169	[-]			

<医療保健学部 理学療法学科>

学 年	対象年度 平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 81	[-] -	[-] 86	[-] -	[-] 88	[-] -	[]	[]	
2年次	/		[-] 78	[-] -	[-] 85	[-] -	[]	[]	
3年次			/		/		[-] 73	[-] -	[]
4年次	/						/		/
計			[-] 81	[-]	[-] 164	[-]			

<医療保健学部 作業療法学科>

学 年	対象年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考	
	平成22年度	平成23年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[-] 41	[-] -	[-] 43	[-] -	[-] 42	[-] -	[]	[]		
2年次	/		[-] 38	[-] -	[-] 41	[-] -	[]	[]		
3年次			/		/		[-] 34	[-] -	[]	[]
4年次							/		/	
計			[-] 41	[-] 81	[-] 117	[]				

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

<デザイン学部 デザイン学科>

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	213 人	15 人	平成22年度	4 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(4人)	7.0 %
			平成23年度	11 人	0 人	就学意欲の低下(1人) 他の教育機関への入学・転学(3人) 就職(2人) 学生個人の心身に関する事情(1人) 経済的理由(4人)	
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度 入学者	193 人	8 人	平成23年度	8 人	0 人	学力不足(1人) 他の教育機関への入学・転学(4人) 就職(1人) 経済的理由(2人)	4.1 %
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成24年度 入学者	194 人	0 人	平成24年度	人	人		0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	人	平成25年度	人	人		%
合 計	600 人	23 人					3.8 %

<医療保健学部 看護学科>

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	87 人	4 人	平成22年度	1 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人)	4.6 %
			平成23年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(2人) 学生個人の心身に関する情報(1人)	
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度 入学者	86 人	1 人	平成23年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1人)	1.2 %
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成24年度 入学者	84 人	0 人	平成24年度	人	人		0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	人	平成25年度	人	人		%
合 計	257 人	5 人					1.9 %

<医療保健学部 臨床工学科>

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	82 人	5 人	平成22年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2人)	6.1 %
			平成23年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(2人) 他の教育機関への入学・転学(1人)	
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度 入学者	89 人	3 人	平成23年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2人) 就職(1人)	3.4 %
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成24年度 入学者	84 人	0 人	平成24年度	人	人		0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	人	平成25年度	人	人		%
合 計	255 人	8 人					3.1 %

<医療保健学部 理学療法学科>

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	81 人	6 人	平成22年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2人)	7.4 %
			平成23年度	4 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(4人)	
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度 入学者	85 人	1 人	平成23年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)	1.2 %
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成24年度 入学者	87 人	0 人	平成24年度	人	人		0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	人	平成25年度	人	人		%
合 計	253 人	7 人					2.8 %

<医療保健学部 作業療法学科>

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	41 人	7 人	平成22年度	3 人	0 人	家庭の事情(2人)就学意欲の低下(1人)	17.1 %
			平成23年度	4 人	0 人	学力不足(1人) 他の教育機関への入学・転学(3人)	
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度 入学者	42 人	1 人	平成23年度	1 人	0 人	経済的理由(1人)	2.4 %
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成24年度 入学者	42 人	0 人	平成24年度	人	人		0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	人	平成25年度	人	人		%
合 計	125 人	8 人					6.4 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<デザイン学部 デザイン学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
基礎教育科目	人文・社会	哲学		2							
	芸術論	1前		2		1					
	宗教学	2前		2							
	心理学	1後		2							
	倫理学	2後		2							
	政治学	1前		2							
	経済学	1前		2							
	法学	1後		2							
	科学論	1後		2							
	コミュニケーション論	2前		2							
	心身ウェルネス	栄養と健康	1前		2						
	スポーツ・コンディショニング	1後		2							
	集中実技Ⅰ	1前		1							
	集中実技Ⅱ	1後		1							
	英語	フレッシュマンイングリッシュⅠ	1前	2			1				
	フレッシュマンイングリッシュⅡ	1後	2				1				
	英語インテンシブⅠ	2前		1			1				
	英語インテンシブⅡ	2後		1			1				
	英語インテンシブⅢ	3前		1			1				
	英語インテンシブⅣ	3後		1			1				
	コンピュータ	コンピュータリテラシーⅠ	1前	2			1				
	コンピュータリテラシーⅡ	1後	2					1			
	コンピュータ概論Ⅰ	1前		2			1				
	コンピュータ概論Ⅱ	1後		2			1				
	自然科学	数理造形	2前		2						
	統計学	2前		2							
	環境と科学	1前 1後		2							学生への講義内容の理解度を高めるため、開講期を変更(24)
生物の基礎	1前		2								
化学の基礎	1前 1後		2							学生への講義内容の理解度を高めるため、開講期を変更(24)	
物理の基礎	1後		2								
数学の基礎	1前		2								
小計(31科目)	—		8	48		3	1				

<デザイン学部 デザイン学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
専門教育科目	専門共通科目	デザイン論	1前	2			1 0 1	1					当初、●●●●が、平成23年4月から専任教員（教授）として就任し、平成22年度は兼任講師として担当することを予定していたが、健康上の理由により、平成22年2月に就任辞退。 平成22年度の担当教員を、石橋宏准教授に変更（22） ●●●●（専任教員・教授）が就任を辞任したため、担当者を変更（23） （担当 及部克人（教授） 平成22年9月教員審査済 判定可（23）		
		デザイン史	1後	2			1						当初、●●●●が、平成23年4月から専任教員（教授）として就任し、平成22年度は兼任講師として担当することを予定していたが、健康上の理由により、平成22年2月に就任辞退。 平成22年度の担当教員を、若林尚樹教授に変更（22） ●●●●（専任教員・教授）が就任を辞任したため、担当者を変更（23） （担当 及部克人（教授） 平成22年9月教員審査済 判定可（23）		
		デザイン概説Ⅰ（基礎）	1前	2			2	3	1						
		デザイン概説Ⅱ（応用）	1後	2			3 2 3	1							
		デザインと社会論	2前	2				1							
		現代アート論	3前	2				1							
		美術史	2後	2			1								
		企業研究	2後		1		1								
		地域とデザイン	3前		1		1								
		伝達論	2前		2			1							
		構成論	2前		2			1							
		演出論	2前		2					1					
		デザイン基礎科目	感性	演習	感性演習Ⅰ（描く）	1①・②・③・④	3			1		1	1		
					感性演習Ⅰ（つくる）	1①・②・③・④	3				1	1	1		
					感性演習Ⅰ（関係づける）	1①・②・③・④	3			1					
感性演習Ⅰ（伝える）	1①・②・③・④				3				1						
感性演習Ⅱ（描く）	2①・②・③・④				3			1		1	1				
感性演習Ⅱ（つくる）	2①・②・③・④				3				1	1	1				
感性演習Ⅱ（関係づける）	2①・②・③・④				3			1							
感性演習Ⅱ（伝える）	2①・②・③・④				3				1						
関連科目	色彩概論		1前	2					1						
			1後	2				1							
関連科目	図法	素材と加工	2後		2				1						
		動体構成論	2後		2				1						
		図法および製図Ⅰ（基礎）	2前		2					1					
		図法および製図Ⅱ（応用）	3前		2				1						
関連科目	空間構成論	2前		2			1								

<デザイン学部 デザイン学科>

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
スキル	スキル演習 I (Webページデザイン)	2①・②・③・④		1								
	スキル演習 I (DTP)	2①・②・③・④		1				1				
	スキル演習 I (画像加工)	2①・②・③・④		1					1			
	スキル演習 I (イラストレーション)	2①・②・③・④		1				1				
	スキル演習 I (グラフィックプログラミング)	2①・②・③・④		1								
	スキル演習 I (写真撮影技法)	2①・②・③・④		1								
	スキル演習 I (イメージデザイン)	2①・②・③・④		1		1						
	スキル演習 I (タイポグラフィ)	2①・②・③・④		1			1					
	スキル演習 II (インタラクティブWebデザイン)	3①・②・③・④		1		1						
	スキル演習 II (エディトリアルデザイン)	3①・②・③・④		1				1				
	スキル演習 II (映像編集)	3①・②・③・④		1				1				
	スキル演習 II (プロダクトシミュレーション)	3①・②・③・④		1				1	1			
	スキル演習 II (アニメーション)	3①・②・③・④		1				1				
	スキル演習 II (映像撮影技法)	3①・②・③・④		1								
	スキル演習 II (サウンドデザイン)	3①・②・③・④		1			1					
	スキル演習 II (空間シミュレーション)	3①・②・③・④		1		1			1			
関連科目	写真論	2 後		2								
	イラストレーション論	2 後		2				1				
	映像論	2 後		2		1						
	アニメーション論	3 前		2				1				
	情報デザイン論	3 前		2				1				
	CAD設計論	3 後		2					1			
デザイン専門科目	視覚と伝達専門演習 I	3①・②・③		3			1	1	1	1		●●●● (専任教員・教授)が就任を辞任したため、担当者を変更(23) 〔担当 及部克人(教授) 平成22年9月教員審査済 判定 可 (23)〕
	映像と構成専門演習 I	3①・②・③		3			1	1	1	1		
	空間と演出専門演習 I	3①・②・③		3			1	1	1	1		
	視覚と伝達専門演習 II	3④		3			1	1	1	1		●●●● (専任教員・教授)が就任を辞任したため、担当者を変更(23) 〔担当 及部克人(教授) 平成22年9月教員審査済 判定 可 (23)〕
	映像と構成専門演習 II	3④		3			1	1	1	1		
	空間と演出専門演習 II	3④		3			1	1	1	1		
	知的財産論	3 前		2								
	マネジメント	3 前		2								
専門	認知心理学	3 後		2								
	プレゼンテーション技法	2 後		2				1				
	マーケティング論	3 前		2								
	経営・経済論	3 後		2								
	インターラクティブデザイン	2 後		2		1						
	編集論	2 前		2			1					
	広告論	3 前		2		1						●●●● (専任教員・教授)が就任を辞任したため、担当者を変更(23) 〔担当 及部克人(教授) 平成22年9月教員審査済 判定 可 (23)〕
	ピクトグラムデザイン	2 後		2				1				
	色彩応用論	2 前		2		1						
	プロダクトデザイン論	2 後		2								
	空間デザイン論	3 前		2		1						
	企画と展示	3 前		2		1						
	前											
	コンピュータグラフィックス論	2 後		2								学生への講義内容の理解度を高めるため(23)
CM表現論	2 後		2		1							
メディアアート	3 後		2				1					

<デザイン学部 デザイン学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	コース専門科目 専門研究	視覚と伝達専門研究	4前		4		2	2	2	1	●●●● (専任教員・教授) が就任を辞任したため、担当者を変更(23) 担当 及部克人(教授) 平成22年9月教員審査済 (判定可(23))	
		映像と構成専門研究	4前		4		2	2	2	1		
		空間と演出専門研究	4前		4		2	2	2	1		
	卒業研究	視覚と伝達卒業研究	4後		4		2	2	2	1		●●●● (専任教員・教授) が就任を辞任したため、担当者を変更(23) 担当 及部克人(教授) 平成22年9月教員審査済 (判定可(23))
		映像と構成卒業研究	4後		4		2	2	2	1		
		空間と演出卒業研究	4後		4		2	2	2	1		
	小計(78科目)		—	51	113		7	7	6	3		
	合計(109科目)		—	59	161		9	7	6	3		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

<デザイン学部 デザイン学科>

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 24	科目 85	科目 0	科目 109	科目 24 [0]	科目 85 [0]	科目 0 [0]	科目 109 [0]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置認可時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」
「該当なし」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	0	=	
認可時の計画の授業科目数の計	109		0.00

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<医療保健学部 看護学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎 教育 科目	哲学	1前		2								
	芸術論	1前		2								
	科学論	1後		2								
	心理学	1後		2								
	倫理学	2後		2								
	宗教学	2前		2								
	政治学	1前		2								
	経済学	1前		2								
	法学	1後		2								
	コミュニケーション論	2前		2								
	英語	フレッシュマンイングリッシュ I	1前	2								
		フレッシュマンイングリッシュ II	1後	2								
		英語インテンシブI	2前		1							
		英語インテンシブII	2後		1							
	心身ウエルネス	栄養と健康	1前		2							
		スポーツ・コンディショニング	1後		2							
		集中実技 I	1前		1							
		集中実技 II	1後		1							
	コンピュータ	コンピュータリテラシー演習I	1前	1								
		コンピュータリテラシー演習II	1後		1							
		コンピュータ概論I	1前	2								
		コンピュータ概論II	1後		2							
		応用コンピュータI	2前		2							
		応用コンピュータII	2後		2							
		応用コンピュータ演習I	2前		1							
		応用コンピュータ演習II	2後		1							
	人間形成	フレッシュヤーズゼミ	1通	2			9	4	2	0	0	
	自然科学	医療科学の基礎 I	1前	2								
		医療科学の基礎 II	1後		2							
		生物の基礎	1前		2							
		化学の基礎	1前 1後		2							学生への講義内容の理解度を高めるため、開講期を変更(24)
		物理の基礎	1後		2							
		数学の基礎	1前		2							
		統計学	2前		2							
小計 (34科目)		—	11	49	0	9	4	2	0	0		

<医療保健学部 看護学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間社会と医療	癒しのケア学	1前	2									
	公衆衛生学	2後	2			1						
	疫学	2後	2			1						
	保健医療福祉論	1後	2			1						
	生命倫理	1後	2									
	健康環境論	3前		新:2 旧:1								保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から単位数を変更(24)
	発達心理学	2前		2								
	臨床心理学	2後		2								
	人間学	2前		1								
	家族社会学	2前		2								
医療経済学	2後		2									
専門基礎科目	人体構造学	1前	2									
	人体機能学	1後	2									
	栄養代謝学	1後	2									
	臨床微生物・免疫学	2前	2									
	病理病態学Ⅰ(総論)	1後	2									
	病理病態学Ⅱ(各論)	2前	2									
	疾病治療論Ⅰ(外科系医学)	2後 2前	2									「疾病治療論Ⅱ(内科系医学)」を2年前期に変更したため、「疾病治療論Ⅰ(外科系医学)」の開講期を2年次前期から2年後期に変更(23)
	疾病治療論Ⅱ(内科系医学)	2前 2後	2									学生への講義内容の理解度を高めるため、開講期を2年後期から2年前期に変更(23)
	疾病治療論Ⅲ(産科・小児・精神医学)	2前	2			1						
	臨床薬理学	2後	2									
	臨床工学演習	2後	1								4	
	臨床栄養学	3前		2								
	画像評価学	2後		1								
	医学概論	1前		2								
	リハビリテーション概論	2前		1								
	小計(26科目)			31	新:17 旧:16	0	2	0	0	0	0	4

<医療保健学部 看護学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	看護学概論	1前	2			1						
	基礎看護技術Ⅰ（看護共通技術）	1前 1後	1			2	2				2	学生への講義内容の理解度を高めるため、開講期を変更(24)
	基礎看護技術Ⅱ （日常生活の援助技術Ⅰ）	1後	1			2	2				2	
	基礎看護技術Ⅲ （日常生活の援助技術Ⅱ）	2前	1			2	2				2	
	基礎看護技術Ⅳ （診療の援助技術）	2後	1			2	2				2	
	看護理論・看護過程	2前・後	2				1				2	
	看護倫理	2前	1			1						
	ヘルスアセスメントⅠ（Basic）	2前	1			1					4	
	ヘルスアセスメントⅡ（Advance）	2後	2			4					4	
	臨床看護学概論Ⅰ（母性・小児）	2前	2			2						
	臨床看護学概論Ⅱ（成人・高齢者）	2前	2			2						
	精神看護学概論	2後	2			1						
	在宅看護学概論	2後	1						1			
	新カリキュラム：公衆衛生看護学概論 旧カリキュラム：地域看護学概論	2前	2			1						保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から授業科目名称を変更(24) 担当 佐々木順子（教授） 平成23年9月 教員審査済 判定 可
	看護工学	2前	1									
	感染制御ケア	2後	1									
	母性看護学Ⅰ （ライフステージと看護）	2後	1			1					1	
	母性看護学Ⅱ （マタニティサイクルと看護）	3前	1			1					1	
	小児看護学Ⅰ （子どもと家族の生活支援）	2後	1			1					1	
	小児看護学Ⅱ （病気の子どもへのアセスメントと看護の実際）	3前	1			1					1	
	成人看護学Ⅰ （周手術期ケア・クリティカルケア）	2後	2			2				1 -2	2	●●●●（助教）が一身上の都合により平成24年3月に退職(24) 他に担当教員が複数いるため 支障はないが、平成25年3月までに補充予定
	成人看護学Ⅱ （生活調整・生活再構築）	3前	2			2				1 -2	2	●●●●（助教）が一身上の都合により平成24年3月に退職(24) 他に担当教員が複数いるため 支障はないが、平成25年3月までに補充予定
	成人看護技術演習	3前	1			2				1 -2	2	●●●●（助教）が一身上の都合により平成24年3月に退職(24) 他に担当教員が複数いるため 支障はないが、平成25年3月までに補充予定
	高齢者看護学Ⅰ （高齢者の暮らしへの看護）	2後	1			1			1		1	
	高齢者看護学Ⅱ （高齢者のアセスメントと看護の実際）	3前	1			1			1		1	
	精神看護学	3前	2			1	1				1	
在宅看護学	3前	2						1		1		

<医療保健学部 看護学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
看護の方法	新カリキュラム： 公衆衛生看護学Ⅰ (公衆衛生看護方法論) 旧カリキュラム： 地域看護学Ⅰ (地域看護方法論)	2後	2			1				1 2	2	保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から授業科目名称を変更(24) 担当 佐々木順子(教授) 平成23年9月 教員審査済 判定 可 担当 三好智美(助教) 平成23年9月 教員審査済 判定 可 担当 武澤千尋(助教) 平成23年9月 教員審査済 判定 可 ●●●●(助教)が一身上の都合により平成23年9月に退職(24) 他に担当教員が複数いるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定
	新カリキュラム： 公衆衛生看護学Ⅱ (対象別保健活動の展開) 旧カリキュラム： 地域看護学Ⅱ (対象別保健活動の展開)	3前	2			1				1 2	2	保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から授業科目名称を変更(24) 担当 佐々木順子(教授) 平成23年9月 教員審査済 判定 可 担当 三好智美(助教) 平成23年9月 教員審査済 判定 可 担当 武澤千尋(助教) 平成23年9月 教員審査済 判定 可 ●●●●(助教)が一身上の都合により平成23年9月に退職(24) 他に担当教員が複数いるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定
	健康学習論	2前	2			1						
	産業看護	3前	1				1					
	医療・看護情報学	3前	1									
	家族看護学	2前		2								
	基礎看護学実習Ⅰ(人間形成)	1後	1			2	2		2	5		
	基礎看護学実習Ⅱ(看護過程)	2後	2			2	2		2	5		
	母性看護学実習	3後	2			1				1		
	看護の実践	小児看護学実習	3後	2			1			1 0 1	1	●●●●(助教)が一身上の都合により平成23年3月に退職(23) ●●●●(助教)が退職のため、担当者を変更(24) 担当 太田浩子(助教) 平成23年9月 教員審査済 判定 可
成人看護学実習	3後	4			2				1 2	2	●●●●(助教)が一身上の都合により平成24年3月に退職(24) 他に担当者が複数いるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定	
高齢者看護学実習	3後	3			1		1			1		
精神看護学実習	3後	2			1	1				1		
在宅看護学実習	4前	2					1	1	1			

<医療保健学部 看護学科>

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
看護の 実践	新カリキュラム： 公衆衛生看護学実習Ⅰ (産業看護) 旧カリキュラム： 地域看護学実習	4前	新:1 旧:3			1	1			1 -2	保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から授業科目名称及び単位数を変更(24) ●●●●(助教)が一身上の都合により平成23年9月に退職(24) 他に担当教員が複数いるため 支障はないが、平成25年3月までに補充予定	
	新カリキュラム： 公衆衛生看護学実習Ⅱ (地域連携)	4前		1		1	1			1	保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から授業科目を追加(24)	
看護の 統合	看護管理学	4後		1		1						
	災害看護学	4後		1								
	看護研究	3後		1		9	1					
	卒業研究	4通		2		9	4	2				
専門科目	統合看護実習	4後	新:3 旧:2			9	4	2		6 -7 -8	7 -8	●●●●(助教)が、一身上の都合により平成23年3月に退職(23) ●●●●(助教)が退職のため、担当者を変更(24) 担当 太田浩子(助教) 平成23年9月 教員審査済 判定 可 平成24年4月 太田浩子(助手) を助教として採用 保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から単位数を変更(24) ●●●●(助教)及び ●●●●(助教)が一身上の都合により退職(24) 他に担当教員が複数いるため 支障はないが、平成25年3月までに補充予定
	国際看護学	4後		1				1				
	看護教育学	4後		1		1						
	医療安全・人間工学概論	3前		2								
	先端医療総合講義	3,4前		2								
	英語講読	4前		1		8	4	2				
	地域ケアシステム論	3,4後		新:2 旧:1		1						保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から単位数を変更(24)
	新カリキュラム： 産業保健学	4後		2		1	1					保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から授業科目を追加(24)
	新カリキュラム： 産業看護演習	3前		1			1					保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から授業科目を追加(24) 担当 五十嵐千代(准教授) 平成23年9月 教員審査済 判定 可
	新カリキュラム： 公衆衛生看護学実習Ⅲ (行政看護)	4前		4		1	1			1		保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から授業科目を追加(24)
	看護情報システム論	4後		1								
	リプロダクティブ・ヘルスケア	4後		1		1						
	ファミリーサポート論	4前		1		1						
	認知症ケア	3前		1		1						
リハビリテーションケア	4前		1		1							
パリアティブケア	4後		1									
新:63 小計(旧:59科目)	—		新:73 旧:74	新:25 旧:16	0	9	4	2	6 -7 -8	7 -8		
新:123 合計(旧:119科目)	—		新:115 旧:116	新:91 旧:81	0	9	4	2	6 -7 -8	7 -8		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

<医療保健学部 看護学科>

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 68	科目 51	科目 0	科目 119	新カリキュラム 科目 68 [0]	科目 55 [4]	科目 0 [0]	科目 123 [0]	保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から授業科目を追加(24)
				旧カリキュラム 科目 68 [0]	科目 51 [0]	科目 0 [0]	科目 119 [0]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注)・設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注)・設置認可時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」
「該当なし」

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	0	=		0.00
認可時の計画の授業科目数の計	119			

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<医療保健学部 臨床工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
人文・社会	哲学	1前		2									
	芸術論	1前		2									
	科学論	1後		2									
	心理学	1後		2									
	倫理学	2後		2									
	宗教学	2前		2									
	政治学	1前		2									
	経済学	1前		2									
	法学	1後		2									
	コミュニケーション論	2前		2									
	英語	フレッシュマンイングリッシュ I	1前	2									
		フレッシュマンイングリッシュ II	1後	2									
英語インテンシブI		2前		1									
英語インテンシブII		2後		1									
心身ウェルネス	栄養と健康	1前		2									
	スポーツ・コンディショニング	1後		2									
	集中実技 I	1前		1									
	集中実技 II	1後		1									
基礎教育科目	コンピュータリテラシー演習I	1前	1										
	コンピュータリテラシー演習II	1後	1										
	コンピュータ概論I	1前	2										
	コンピュータ概論II	1後	2										
	応用コンピュータ I	2前		2									
	応用コンピュータ II	2後		2									
	応用コンピュータ演習 I	2前		1									
	応用コンピュータ演習 II	2後		1									
人間形成	フレッシュヤーズゼミ	1通	2			5	2	3	3	0	平成24年3月 ●●●● (教授)が退職のため、担当 者を変更 (24) 担当 片倉寛 (教授) 平成24年1月 教員審査済 判定 可		
自然科学	医療科学の基礎 I	1前	2				1	1					
	医療科学の基礎 II	1後	2				1	1					
	生物の基礎	1前		2			1						
	化学の基礎	1前 1後	2					1				学生への講義内容の理解度を高めるため、開講期を変更(24)	
	物理の基礎	1後	2			1							
	数学の基礎	1前		2		1							
	統計学	2前	2			1							
小計 (34科目)		—	22	38	0	5	2	3	3	0			

<医療保健学部 臨床工学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	人体解剖学Ⅰ	1前	2			1						
	人体解剖学Ⅱ	1後	2			1						
	生命倫理	1後	2									
	生理学Ⅰ	1後	2									
	生理学Ⅱ	2前	2									
	臨床生化学	2前	2									
	臨床薬理学	2後	2									
	病理学	2後	2			1						
	臨床微生物・免疫学	2前	2									
	基礎医学実習	2前	2					2				
	医療情報演習	4後		1								
	医療経済学	2後		2								
	臨床心理学	2後	2									
	公衆衛生学	2前	2									
	システム制御工学	3前	2				1					
	電磁気学	2前	2			1						
	機械工学Ⅰ	2後	2				1					
	機械工学Ⅱ	3前	2			1						平成24年3月 ●●●● (教授)が退職のため、担当者を変更(24) 担当 片倉寛 (教授) 平成24年1月 教員審査済 判定 可
	電気工学	2前 2後	2				1					学生への講義内容の理解度を高めるため(23)
	工学実験Ⅰ	2前	2			3	1					平成24年3月 ●●●● (教授)が退職のため、担当者を変更(24) 担当 片倉寛 (教授) 平成24年1月 教員審査済 判定 可
	工学実験Ⅱ	2後	2			3	1					平成24年3月 ●●●● (教授)が退職のため、担当者を変更(24) 担当 片倉寛 (教授) 平成24年1月 教員審査済 判定 可
	電子工学Ⅰ	2前	2				1					
	電子工学Ⅱ	2後	2				1					
	工学演習Ⅰ	3後	1				2	1				平成24年3月 ●●●● (教授)が退職のため、担当者を変更(24) 担当 片倉寛 (教授) 平成24年1月 教員審査済 判定 可
	工学演習Ⅱ	4前	1				2	1				平成24年3月 ●●●● (教授)が退職のため、担当者を変更(24) 担当 片倉寛 (教授) 平成24年1月 教員審査済 判定 可
	数学(線形代数)	1前	2				1					
	数学(微分積分)	1後	2				1					
数学(応用解析学)	2後	2				1						
看護学概論	1後	2										
情報工学特論	4前		2									
医学概論	1前	2										
小計(31科目)	—	54	5	0	4	1	2	0	0			

<医療保健学部 臨床工学科>

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
門 科	医用物性材料工学	3後	2				1					
	医用治療機器学	3前	2				1					
	医用画像工学	3前	2			1						
	医療機器安全管理学	3前	2									
	医療機器安全管理学実習	3後	2						2	0 2	平成23年11月●●●●(助手)、平成23年3月●●●●(助手)が就任 辞退(24) 〔演習講師8名を採用し補助しているため支障はないが、平成25年3月までに補充予定。〕	
	生体計測機器学	3前	2			1						
	医用機器実習	3前 3後	2						2	0 2	授業時間を確保するため開講時期を変更(24) 平成23年11月●●●●(助手)、平成23年3月●●●●(助手)が就任 辞退(24) 〔演習講師7名を採用し補助しているため、支障はないが、平成25年3月までに補充予定。〕	
	血液浄化装置学	3前	2						1			
	呼吸療法装置学	3前	2						1			
	体外循環装置学	3後	2			±	1					平成24年3月●●●●(教授)が退職のため、担当者を変更(24) 〔担当 苗村潔(准教授) 平成24年1月 教員審査済 判定 可〕
	生体機能代行装置実習Ⅰ	3前	2						3	0 2	平成23年11月●●●●(助手)、平成23年3月●●●●(助手)が就任 辞退(24) 〔演習講師を11名採用し補助しているため、支障はないが、平成25年3月までに補充予定。〕	
	生体機能代行装置実習Ⅱ	3後	2						3	0 2	平成23年11月●●●●(助手)、平成23年3月●●●●(助手)が就任 辞退(24) 〔演習講師11名を採用し補助しているため、支障はないが、平成25年3月までに補充予定。〕	
	医療安全・人間工学概論	4前	2			1						
	臨床工学セミナー	4前	2						1			
	臨床実習	3後	4						4	0 2	平成23年11月●●●●(助手)、平成23年3月●●●●(助手)が就任 辞退(24) 〔他の専任教員がサポートしているため、支障はないが、平成25年3月までに補充予定。〕	
	内科系臨床医学Ⅰ	2前	2									
	外科系臨床医学Ⅰ	2後 2前	2			1						学生への講義内容の理解度を高めるため(23)
	内科系臨床医学Ⅱ	3前	2									
	外科系臨床医学Ⅱ	3後	2			1						
	専門演習Ⅰ	4後		1					3	0 2	平成23年11月●●●●(助手)、平成23年3月●●●●(助手)が就任 辞退(24) 〔科目開講時までに助手を補充する。〕	
専門演習Ⅱ	4後		1					2	0 2	平成23年11月●●●●(助手)、平成23年3月●●●●(助手)が就任 辞退(24) 〔科目開講時までに助手を補充する。〕		

<医療保健学部 臨床工学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	卒業研究 I	4前	2			5	2	3	3		平成24年3月 ●●●● (教授)が退職のため、担当者を変更(24) 担当 片倉寛(教授) 平成24年1月 教員審査済 判定可
	卒業研究 II	4後	2			5	2	3	3		平成24年3月 ●●●● (教授)が退職のため、担当者を変更(24) 担当 片倉寛(教授) 平成24年1月 教員審査済 判定可
	先端医療総合講義	4後		2		1					
	小計(24科目)	—	44	4	0	5	2	3	4	0 2	
	合計(89科目)	—	120	47	0	5	2	3	4	0 2	

- (注)
- ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

<医療保健学部 臨床工学科>

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 61	科目 28	科目 0	科目 89	科目 [0]	科目 [0]	科目 [0]	科目 [0]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置認可時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」
 「該当なし」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	0	=	
認可時の計画の授業科目数の計	89		0.00

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<医療保健学部 理学療法学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人文・社会	哲学	1前		2							
	芸術論	1前		2							
	科学論	1後		2							
	心理学	1後		2							
	倫理学	2後		2							
	宗教学	2前		2							
	政治学	1前		2							
	経済学	1前		2							
	法学	1後		2							
	コミュニケーション論	2前		2							
英語	フレッシュマンイングリッシュ I	1前	2								
	フレッシュマンイングリッシュ II	1後	2								
	英語インテンシブI	2前		1							
	英語インテンシブII	2後		1							
心身ウェルネス	栄養と健康	1前		2							
	スポーツ・コンディショニング	2後		2							
	集中実技 I	1前		1							
	集中実技 II	1後		1							
基礎教育科目	コンピュータリテラシー演習I	1前	1								
	コンピュータリテラシー演習II	1後		1							
	コンピュータ概論I	1前	2								
	コンピュータ概論II	1後		2							
	応用コンピュータ I	2前		2							
	応用コンピュータ II	2後		2							
	応用コンピュータ演習 I	2前		1							
	応用コンピュータ演習 II	2後		1							
人間形成	フレッシュャーズゼミ	1通	2			3	4 ³	3			平成24年3月 ●●●●(准教授)が一身上の都合により就任辞退(24) 他に担当教員が複数いるため支障はない。
自然科学	医療科学の基礎 I	1前	2								
	医療科学の基礎 II	1後		2							
	生物の基礎	1前		2							
	化学の基礎	1前 1後		2							学生への講義内容の理解度を高めるため、開講期を変更(24)
	物理の基礎	1後	2								
	数学の基礎	1前		2							
	統計学	2前		2							
小計 (34科目)		—	13	47	0	3	4 ³	3	0	0	

< 医療保健学部 理学療法学科 >

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	人体構造学Ⅰ	1前	2									
	人体構造学Ⅱ	1後	2									
	解剖学実習Ⅰ	1後	1									
	解剖学実習Ⅱ	2前	1									
	生理学Ⅰ	1前	2									
	生理学Ⅱ	1後	1									
	生理学実習	2前	1									
	キネシオロジー	1後	2				1	1				
	キネシオロジー演習	2前	1				1	1	1			
	クリニカル・キネシオロジー演習	3前	1					1		1		
	人間発達学	1後	2									
	病理・組織学演習	2前	1									
	臨床薬理学	2後		2								
	病理学	2前	1									
	臨床微生物・免疫学	2前	2									
	臨床心理学	2後		2								
	一般臨床医学	2後	2				1					
	整形外科	2前	2									
	精神医学	2前	2									
	神経内科学	2前	2				1					
	小児科学	2後	2									
	栄養代謝学	3後 3前		1								授業時間を確保するため開講時期を変更(24)
	老年医学	3後	2									
	画像評価学	2後	1									
	リハビリテーション工学	2後	2					1				
	リハビリテーション医学	2後	2				1					
	生命倫理	1後		2								
	医学概論	1前		2								
	家族社会学	2前		2								
	医療経済学	2後		2								
	公衆衛生学	3前	1									
	医療情報演習	4後		1								
小計(32科目)		—	38	14	0	2	1	1	1	0		

<医療保健学部 理学療法学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	理学療法入門	1前	2			0 1	1	1	1		●●●●が平成21年11月に死亡のため、担当が「可」となっている他の教員で実施。担当教員が複数いるため支障はない(22)	
	理学療法研究	3後	1			1	0 1	1			平成24年3月 ●●●●(准教授)が一身上の都合により就任辞退(24) 他に担当教員が複数いるため支障はない。	
	先端医療総合講義	4後		2								
	医療安全・人間工学概論	3後		2								
	理学療法総合演習	4前	1			1	1	1				
	理学療法ゼミ	4前	1			2	1 2					平成24年3月 ●●●●(准教授)が一身上の都合により就任辞退(24) 他に担当教員が複数いるため支障はない。
	リスク管理論	3後	2									
	理学療法マネジメント論	4前		1								
	卒業研究	4通	4			4	3 4	3				平成24年3月 ●●●●(准教授)が一身上の都合により就任辞退(24) 他に担当教員が複数いるため支障はない。
	機能・能力測定	1後	2						1			
	機能・能力測定演習	1後	1			1		1	1			
	運動器系理学療法評価学	2前	2			1	1					
	神経系理学療法評価学	2後	2				0 1	1				平成24年3月 ●●●●(准教授)が、一身上の都合により就任辞退(24) 平成24年4月から網本和が兼任講師として担当することから支障はない。
	内部障害系理学療法評価学	2後	2			1						
	運動療法	2前	2			1						
	運動療法実習	2後	1			1		1				
	物理療法	3前	2				1					
	物理療法実習	3後	1				1					
	神経系理学療法学	3前	2				0 1					平成24年3月 ●●●●(准教授)が、一身上の都合により就任辞退(24) 平成24年4月から網本和が兼任講師として担当することから支障はない。
	神経系理学療法学実習	3後	1					1				
	運動器系理学療法学	3前	2				1					
	運動器系理学療法学実習	3後	1			1	1					
	内部障害系理学療法学	3前	2					1				
	内部障害系理学療法学実習	3後	1			1		2				
	義肢装具学演習	3前	1				1					
	義肢装具学実習	3後	1				1					
老年期理学療法学	3前	2				1						
発達障害系理学療法学演習	3前	1						1	0 1		平成23年12月 ●●●●(助教)が一身上の都合により就任辞退(24) 他に担当教員がいるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定。	

<医療保健学部 理学療法学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	マニュアルセラピー	3後	1					1				
	マニュアルセラピー実習	3後	1			1						
	スポーツ科学理学療法学演習	3前	1			1						
	日常生活活動論	2後	2				1					
	日常生活活動論実習	3後	1				1			0 -1		平成23年12月 ●●●●(助教)が一身上の都合により就任辞退(24) 他に担当教員がいるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定。
	生活環境学	3前		1			1					
	地域理学療法学	4後	2							0 -1		当初、●●●●(助教)が担当することを予定していたが、教員審査の判定が「不可」となったため、科目開設までに専任教員を補充する(22)
住宅環境論	4前		1						0 -1		当初、●●●●(助教)が担当することを予定していたが、教員審査の判定が「不可」となったため、科目開設までに専任教員を補充する(22)	
臨床実習Ⅰ(見学)	1前	1				1 2			3 -1	0 -1	●●●●が平成21年11月に死亡のため、担当が「可」となっている他の教員で実施。 [担当教員が複数いるため支障はない(22)] ●●●●(教授)の死亡により担当者を変更(24) 担当 三浦達浩(助教) 平成23年9月 教員審査済 判定 可 実習指導体制の充実を図り教員(助教)を追加(24) 担当 地神裕史(助教) 平成23年9月 教員審査済 判定 可 平成23年10月 ●●●●(助手)が一身上の都合により就任辞退(24) 他に担当教員が複数いるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定。	

< 医療保健学部 理学療法学科 >

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	臨床実習Ⅱ (検査測定)	2後	1			1 2			3 1	0 1	<p>●●●●が平成21年11月に死亡のため、担当が「可」となっている他の教員で実施。 担当教員が複数いるため支障はない(22)</p> <p>●●●●(教授)の死亡により担当者を変更(24) 担当 三浦達浩 (助教) 平成23年9月 教員審査済 判定 可</p> <p>実習指導体制の充実を図り教員(助教)を追加(24) 担当 地神裕史 (助教) 平成23年9月 教員審査済 判定</p> <p>平成23年10月●●●●(助手)が一身上の都合により就任辞退(24) 他に担当教員が複数いるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定</p>
	臨床実習Ⅲ (評価)	3後	4				1 2	3 1	0 1	<p>平成24年3月 ●●●●(准教授)が就任辞退のため担当者を変更(24) 担当 三浦達浩 (助教) 平成23年9月 教員審査済 判定 可</p> <p>実習指導体制の充実を図り教員(助教)を追加(24) 担当 地神裕史 (助教) 平成23年9月 教員審査済 判定 可</p> <p>平成23年10月 ●●●●(助手)が一身上の都合により就任辞退(24) 他に担当教員が複数いるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定。</p>	
	臨床実習Ⅳ (インターン)	4通	12			1	1		3 1	0 1	<p>実習指導体制の充実を図り教員2名(助教)を追加(24) 担当 三浦達浩 (助教) 平成23年9月 教員審査済 判定 可</p> <p>担当 地神裕史 (助教) 平成23年9月 教員審査済 判定 可</p> <p>平成23年10月 ●●●●(助手)が一身上の都合により就任辞退(24) 他に担当者が複数いるため支障はない、平成25年3月までに補充予定。</p>
	小計 (40科目)	-	66	7	0	4 5	3 4	3	5 4	0 1	
合計 (106科目)		-	117	68	0	4 5	3 4	3	5 4	0 1	

- (注)
- ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

<医療保健学部 理学療法学科>

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 66	科目 40	科目 0	科目 106	科目 [0]	科目 [0]	科目 [0]	科目 [0]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置認可時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」
 「該当なし」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	0	=	
認可時の計画の授業科目数の計	106		0.00

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<医療保健学部 作業療法学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文・社会	哲学	1前		2								
	芸術論	1前		2								
	科学論	1後		2								
	心理学	1後		2								
	倫理学	2後		2								
	宗教学	2前		2								
	政治学	1前		2								
	経済学	1前		2								
	法学	1後		2								
	コミュニケーション論	2前		2								
英語	フレッシュマンイングリッシュ I	1前	2									
	フレッシュマンイングリッシュ II	1後	2									
	英語インテンシブI	2前		1								
	英語インテンシブII	2後		1								
心身ウェルネス	栄養と健康	1前		2								
	スポーツ・コンディショニング	2後		2								
	集中実技 I	1前		1								
	集中実技 II	1後		1								
基礎教育科目	コンピュータリテラシー演習I	1前	1									
	コンピュータリテラシー演習II	1後		1								
	コンピュータ概論I	1前	2									
	コンピュータ概論II	1後		2								
	応用コンピュータ I	2前		2		1						
	応用コンピュータ II	2後		2		1						
	応用コンピュータ演習 I	2前		1		1						
	応用コンピュータ演習 II	2後		1		1						
人間形成	フレッシュャーズゼミ	1通	2			4	3	0	0	0	平成24年4月 ●●●●(准教授)が一身上の都合により就任遅延(24) 学生への指導体制の充実を図り、教員(准教授)を追加(24) 担当 酒井弘美(准教授) 平成23年7月 教員審査済 判定 可	
自然科学	医療科学の基礎 I	1前	2					1				
	医療科学の基礎 II	1後		2				1				
	生物の基礎	1前		2								
	化学の基礎	1前 -1後		2							学生への講義内容の理解度を高めるため(24)	
	物理の基礎	1後		2								
	数学の基礎	1前		2								
	統計学	2前		2								
小計(34科目)			11	49	0	4	3	1	0	0		

<医療保健学部 作業療法学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	人体構造学Ⅰ	1前	2									
	人体構造学Ⅱ	1後	2									
	解剖学実習Ⅰ	1後	1									
	解剖学実習Ⅱ	2前	1									
	生理学Ⅰ	1前	2									
	生理学Ⅱ	1後	1									
	生理学実習	2前	1									
	病理・組織学演習	2前	1									
	臨床薬理学	2後		2								
	病理学	2前	1									
	臨床微生物・免疫学	2前	2			1						
	臨床心理学	2後	2									
	公衆衛生学	2前	1									
	一般臨床医学	2後	2									
	整形外科学	2前	2									
	精神医学	2前	2									
	神経内科学	2前	2									
	小児科学	2後	2									
	リハビリテーション医学	2後	2									
	栄養代謝学	3後 3前		1								授業時間を確保するため開講時期を変更(24)
	人間発達学	1後	2				1					
	老年医学	3後	2				1					
	家族社会学	2前		2								
	運動学	1後	2									
	運動学実習	2前	1				1	1				実習指導体制の充実を図り教員(准教授)を追加(24) 担当 酒井弘美 平成23年7月 教員審査済 判定 可
	臨床運動学演習	3前	1				1					
	コミュニケーション演習	1後 1前	1				1					「コミュニケーション実習」を1年次前期に変更したため、学生の負担を考慮して、1年前期から1年後期に変更(22)
	コミュニケーション実習	1前 1後	2				1					学外での実習を中心に行うため、実習先の都合により、開講期を1年後期から1年前期に変更(22)
	医療情報演習	4後		1								
	医療経済学	2後		2								
	リハビリテーション工学	3前	2									
	生命倫理	1後		2								
	医学概論	1前		2			1					
	画像評価学	2後		1								
	文章表現リテラシー	1後	1									
小計(35科目)	—		43	13	0	4	2 1	0	0	0		

< 医療保健学部 作業療法学科 >

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	身体障害作業療法学Ⅰ（神経系）	2後	1			1	1						
	身体障害作業療法学Ⅱ（筋骨格系）	2後	1				1 2				1	●●●●（准教授）が一身上の都合により、就任遅延(24) 他に担当教員が1名いるため支障はない。	
	身体障害作業療法学Ⅲ（全身性障害）	3前	1			1	1 2				1	●●●●（准教授）が一身上の都合により、就任遅延(24) 平成24年度は田丸あき子が兼任講師として担当するため支障はない。	
	身体障害作業療法学Ⅳ（外傷熱傷）	3後	1				3			0 ±	1 2	当初、●●●●（助教）が担当することを予定していたが、教員審査の判定が「不可」となったため、科目開設までに専任を補充する（22） ●●●●（助教）の教員審査の判定が「不可」となったため担当者を変更（24） 担当 酒井弘美（准教授） 平成24年1月教員審査済 判定 可 ●●●●（准教授）が一身上の都合により、就任遅延（24） 平成24年度は田丸あき子が兼任講師として担当するため支障はない。 平成24年2月 ●●●●（助手）が一身上の都合により就任辞退（24） 他に担当教員が複数いるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定。	
	身体障害作業療法学Ⅴ（老年期障害）	3前	1				1						
	身体障害作業療法学Ⅵ（感覚器その他）	3後	1				1 2				1	●●●●（准教授）が一身上の都合により、就任遅延（24） 平成24年度は田丸あき子が兼任講師として担当するため支障はない。	
	身体障害作業療法学総論	2前	2			1						1	
	高次脳機能障害作業療法学	3後	2				1			0 ±	1	当初、●●●●（助教）が担当することを予定していたが、教員審査の判定が「不可」となったため、科目開設までに専任を補充する（22） ●●●●（助教）の教員審査の判定が「不可」となったため担当者を変更（24） 担当 酒井弘美（准教授） 平成23年7月教員審査済 判定 可	
	義肢装具学	3前	2			1						1	
	精神障害作業療法学各論Ⅰ（治療技法別）	2後	1			1						1	
	精神障害作業療法学各論Ⅱ（疾患・障害別）	3後	1									1	
	精神障害作業療法学総論	2前	2									1	
	発達障害作業療法学演習Ⅰ	3前	1				1						
発達障害作業療法学演習Ⅱ	3後	1				1							

< 医療保健学部 作業療法学科 >

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	老年期障害作業療法学総論	3後	1				0 1					●●●●(准教授)が一身上の都合により、就任遅延(24) 平成24年度は田丸あき子が兼任講師として担当するため支障はない。	
	作業療法管理学	4後		1			2 1					教員(准教授)を追加(24) 担当 酒井弘美(准教授) 平成23年7月教員審査済 判定 可	
	職業前関連活動学	4後		1			1 2					●●●●(准教授)が一身上の都合により、就任遅延(24) 開講期は専任として就任するため支障はない。	
	地域作業療法学Ⅰ (身体障害・老年期障害)	3後	1			1	1			0 ±	1	当初、●●●●(助教)が担当することを予定していたが、教員審査の判定が「不可」となったため、科目開設までに専任を補充する(22) ●●●●(助教)の教員審査の判定が「不可」となったため担当者を変更(24) 担当 酒井弘美(准教授) 平成23年1月教員審査済 判定 可	
	地域作業療法学Ⅱ (精神障害・発達障害)	3後	1				1				1		
	作業療法学概論	1後	2			2	1						教員(准教授)を追加(24) 担当 酒井弘美(准教授) 平成23年7月教員審査済 判定 可
	基礎作業療法技法実習Ⅰ	1後	2										
	基礎作業療法技法実習Ⅱ	2前	2				1						
	作業解析学演習	3前	1				1				1		
	心理社会的機能作業療法評価学演習	2前	2				1				1		
	心理社会的障害日常生活活動学演習	3前	1										
	先端医療総合講義	4後		2									
	医療安全・人間工学概論	3前		2									
	臨床講座Ⅰ	2後	1					1 2				1 2	●●●●(准教授)が一身上の都合により、就任遅延(24) 他に担当教員が1名いるため支障はない。 平成24年2月 ●●●●(助手)が一身上の都合により、就任辞退(24) 他に担当教員がいるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定。
臨床講座Ⅱ	3後	1					1 2				1 2	●●●●(准教授)が一身上の都合により、就任遅延(24) 他に担当教員が1名いるため支障はない。 平成24年2月 ●●●●(助手)が一身上の都合により、就任辞退(24) 他に担当教員がいるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定。	

< 医療保健学部 作業療法学科 >

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	臨床見学	2前 2後 2前	1				2 0		2 1	1 2	<p>学外での実習を中心に行うため、実習先の都合により、開講期を2年前期から2年後期に変更 (23)</p> <p>学外での実習を中心に行うため、実習先の都合により、開講期を2年後期から2年前期に変更 (24)</p> <p>実習指導体制の充実を図り、担当教員を3名追加 (24)</p> <p>担当 酒井弘美 (准教授) 平成23年7月教員審査済 判定 可</p> <p>担当 石川進一 (助教) 平成24年1月教員審査済 判定 可</p> <p>担当 西野由希子 (助教) 平成24年1月教員審査済 判定 可</p> <p>平成23年8月 ●●●● (助教) が就任辞退のため、平成23年9月から担当者を変更 (24)</p> <p>担当 大島隆一郎 (准教授) 平成23年7月教員審査済 判定 可</p> <p>平成24年2月 ●●●● (助手) が一身上の都合により、就任辞退 (24)</p> <p>他に担当教員が複数いるため 支障はないが、平成25年3月までに補充予定。</p>
	臨床実習 I (評価実習)	2後	2				1		3 1	1 2	<p>実習指導体制の充実を図り、担当教員を2名追加 (24)</p> <p>担当 石川進一 (助教) 平成24年1月教員審査済 判定 可</p> <p>担当 西野由希子 (助教) 平成24年1月教員審査済 判定 可</p> <p>平成24年2月 ●●●● (助手) が一身上の都合により、就任辞退 (24)</p> <p>他に担当教員が複数いるため 支障はないが、平成25年3月までに補充予定。</p>
	臨床実習 II (評価実習)	3前	2				1		3 1	1 2	<p>実習指導体制の充実を図り、担当教員を2名追加 (24)</p> <p>担当 石川進一 (助教) 平成24年1月教員審査済 判定 可</p> <p>担当 西野由希子 (助教) 平成24年1月教員審査済 判定 可</p> <p>平成24年2月 ●●●● (助手) が一身上の都合により、就任辞退 (24)</p> <p>他に担当教員が複数いるため 支障はないが、平成25年3月までに補充予定。</p>

< 医療保健学部 作業療法学科 >

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	臨床実習Ⅲ（総合実習）	3後・4前	8				1 2				1 2	●●●●（准教授）が一身上の都合により、就任遅延(24) 〔他に担当教員がいるため支障はない。〕 平成24年2月 ●●●●（助手）が一身上の都合により、就任辞退(24) 〔他に担当教員がいるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定。〕	
	臨床実習Ⅳ（総合実習）	3後・4前	8				2 1		0 1		1 2	平成23年8月 ●●●●（助教）が一身上の都合により就任辞退のため担当者を変更(24) 〔担当 酒井弘美(准教授) 平成23年7月教員審査済 判定 可〕 平成24年2月 ●●●●（助手）が一身上の都合により、就任辞退(24) 〔他に担当教員が複数いるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定。〕	
	作業療法セミナーⅠ	4後		1			0 1				1 2	●●●●（准教授）が一身上の都合により、就任遅延(24) 〔開講期は専任として就任するため支障はない。〕 平成24年2月 ●●●●（助手）が一身上の都合により、就任辞退(24) 〔他に担当教員がいるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定。〕	
	作業療法セミナーⅡ	4後		1						1	1 2	平成24年2月 ●●●●（助手）が一身上の都合により、就任辞退(24) 〔他に担当教員が複数いるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定。〕	
	作業療法セミナーⅢ	4後		1			1						
	作業療法セミナーⅣ	4後		1									
	作業療法研究法	3後	2			1	1 0						平成23年3月 ●●●●兼担教授が退職のため、平成24年度より担当者を変更(24) 〔担当 酒井弘美(准教授) 平成23年7月教員審査済 判定 可〕
	作業療法卒業研究	4通	4			5	3					1 2	●●●●（准教授）が一身上の都合により、就任遅延(24) 〔開講期は専任として就任するため支障はない。〕 卒業研究の指導体制の充実を図り、教員を1名追加(24) 〔担当 酒井弘美(准教授) 平成23年7月教員審査済 判定 可〕 平成24年2月 ●●●●（助手）が一身上の都合により、就任辞退(24) 〔他に担当教員が複数いるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定。〕
	小計（40科目）	—	60	10	0	5	3	1		4 3	1		
	合計（109科目）	—	114	72	0	5	3	1		4 3	1 2		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

<医療保健学部 作業療法学科>

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 65	科目 44	科目 0	科目 109	科目 65 [0]	科目 44 [0]	科目 0 [0]	科目 109 [0]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注)・設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注)・設置認可時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」
「該当なし」

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	0	=	
認可時の計画の授業科目数の計	109		0.00

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備 考
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	【区分：共用】 ①蒲田 日本工学院専門学校との 共用： 収容定員5940人 基準面積 なし 共用の合計 20,693.00㎡のうち、 借用面積31.29㎡ 借用期間 平成21年4月1日 ～51年3月31日 ②八王子 日本工学院八王子専門 学校との共用： 収容定員5640人 基準面積 なし 【区分：共用する他の 学校等の専用】 ①日本工学院専門学校 ②日本工学院八王子専門 学校 運動場用地と校舎敷地 との所要時間は、電車 約65分、自動車約120 分である。
	校 舎 敷 地	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 365,355.51㎡ ① 20,693.00㎡ ② 344,662.51㎡	計 6,292.19㎡ ① 6,292.19㎡ ② 0㎡	計 371,647.70㎡ ① 26,985.19㎡ ② 344,662.51㎡	
	運 動 場 用 地	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 36,158.00㎡ ① 0㎡ ② 36,158.00㎡	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 36,158.00㎡ ① 0㎡ ② 36,158.00㎡	
	小 計	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 401,513.51㎡ ① 20,693.00㎡ ② 380,820.51㎡	計 6,292.19㎡ ① 6,292.19㎡ ② 0.00㎡	計 407,805.70㎡ ① 26,985.19㎡ ② 380,820.51㎡	
	そ の 他	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	
	合 計	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 401,513.51㎡ ① 20,693.00㎡ ② 380,820.51㎡	計 6,292.19㎡ ① 6,292.19㎡ ② 0㎡	計 407,805.70㎡ ① 26,985.19㎡ ② 380,820.51㎡	
(2) 校 舎	専 用	計 134,931.610㎡ ① 25,057.260㎡ ② 109,874.350㎡	計 40,970.610㎡ ① 9,279.950㎡ ② 31,690.660㎡	計 102,599.660㎡ ① 53,606.720㎡ ② 48,992.940㎡	計 278,501.880㎡ ① 87,943.930㎡ ② 190,557.950㎡	【区分：専用】 ①蒲田 ②八王子 【区分：共用】 ①日本工学院専門学校 との共用： 収容定員5940人 基準面積16,400㎡ 借用面積31.29㎡ 借用期間 平成21年4月1日 ～51年3月31日 ②日本工学院八王子專 門学校との共用： 収容定員5640人 基準面積16,040㎡ 【区分：共用する他の 学校等の専用】 ①日本工学院専門学校 ②日本工学院八王子專 門学校
		(計 130,409.440㎡ ① 20,535.090㎡ ② 109,874.350㎡)	(計 40,970.610㎡ ① 9,279.950㎡ ② 31,690.660㎡)	(計 126,118.940㎡ ① 77,126.000㎡ ② 48,992.940㎡)	(計 297,498.990㎡ ① 106,941.040㎡ ② 190,557.950㎡)	
(3) 教 室 等	講 義 室	計 72室 ① 17室 ② 55室	計 1室 ① 1室 ② 0室	計 229室 ① 40室 ② 189室	計 6室 ① 6室 ② 0室 (補助職員 人)	大学全体 ①蒲田 ②八王子
	演 習 室				計 4室 ① 4室 ② 0室 (補助職員 人)	
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		・デザイン学部の教員研 究室は、職位にかかわら ず共同研究室 ・医療保健学部の教員研 究室は、教授、准教授は 個室、講師、助教及び助 手は共同研究室
	デザイン学部			10 室		
医療保健学部			46 室			

区 分		内 容						備 考	
(5) 図書・設備 新設学部等の名称	図 書 [うち外国書] 冊	学術雑誌 [うち外国書] 種		電子ジャーナル [うち外国書]	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	「大学全体の共用分(機械・器具、標本を除く)」 ・八王子図書館 八王子図書館からの移管図書(和書)2,911冊を医療保健学部とデザイン学部に分けて記載 「大学全体の共用分(機械・器具、標本を除く)」 ・八王子図書館 八王子図書館からの移管図書(和書)2,911冊を医療保健学部とデザイン学部に分けて記載(医療保健学部は更に学科で按分) 医療保健学部の機械・器具には、日本工学院専門学校からの転用分2,014点を含めて記載 医療保健学部の「機械・器具」については、一部購入品について一式として備品登録したため点数が減少した(23)	
	デザイン学部	7,691 [300] (4,343 [89]) (3,273 [-60])	52 [10] (86 [13]) (-52 [-10])	1 [1] (3 [3]) (-1 [-1])	180 (89) (-36)	8,574 (4,689) (-4,610)	0 (0)		
	医療保健学部看護学科	4,445 [380] (4,429 [484]) (3,485 [-300])	23 [9] (35 [10]) (-23 [-9])	5 [5] (6 [6]) (-5 [-5])	92 (34) (-28)	13,015 (7,156) (-7,238)	113 (128) (-106)		
	医療保健学部臨床工学科	2,565 [180] (2,150 [131]) (1,985 [-100])	23 [9] (23 [9])	5 [5] (5 [5])	92 (40) (-28)				
	医療保健学部理学療法学科	2,055 [90] (1,754 [19]) (1,495 [-10])	17 [7] (19 [7]) (-17 [-7])	5 [5] (5 [5])	67 (34) (-19)				
	医療保健学部作業療法学科	1,813 [90] (1,504 [12]) (1,253 [-10])	17 [7] (25 [11]) (-17 [-7])	5 [5] (9 [9]) (-5 [-5])	68 (23) (-20)				
	小 計	11,178 [740] (9,837 [646]) (8,218 [-420])	80 [32] (102 [37]) (-80 [-32])	20 [20] (25 [25]) (-20 [-20])	319 (131) (-95)	13,015 (7,156) (-7,238)	113 (128) (-106)		
	計	18,869 [1,040] (14,180 [735]) (11,491 [480])	132 [42] (188 [50]) (-132 [-42])	21 [21] (28 [28]) (-21 [-21])	449 (220) (-131)	8,574 (4,689) (4,610) 13,015 (7,156) (7,238)	0 (0) 113 (128) (-106)		
八王子図書館	127,645 [30,404]	323 [83]	51 [46]	2,587	---	---			
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 ①蒲田 ②八王子		
	計	4,496㎡ ① 1,578㎡ ② 2,918㎡	計	854席 ① 200席 ② 654席	計	238,000冊 ① 63,000冊 ② 175,000冊			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	10,645㎡		テニスコート(5面)、50m公認プール						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費および設備購入費は、 上段がデザイン学部 下段が医療保健学部
		教員1人当たり研究費等	600千円	1,100千円	図書購入費	14,961千円 15,000千円 49,910千円 50,000千円	15,000千円 13,000千円	7,940千円 13,000千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	265,357千円 277,584千円 499,914千円 518,969千円	132,916千円 119,997千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	学生納付金は、 上段がデザイン学部 中段が、医療保健学部 看護学科下段が、医療 保健学部臨床工学科、 理学療法学科、作業療 法学科	
		1,810千円	1,590千円	1,620千円	1,650千円	---	---		
2,100千円		1,680千円	1,716千円	1,750千円	---	---			
学生納付金以外の維持方法の概要		検定料収入、手数料収入、資産運用収入、事業収入をもって支弁する。							

- (注) ・ 設置認可時の計画を、認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	東京工科大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
応用生物学部 応用生物学科	4	240	2年次 18人 3年次 9人	1,032	学士 (バイオクス)	1.23	平成15年度	東京都 八王子市 片倉町 1404-1	平成20年4月入学者から、バイオニクス学部バイオニクス学科の名称を、応用生物学部応用生物学科に変更した。
コンピュータサイエンス学部 コンピュータサイエンス学科	4	480	2年次 18人 3年次 12人	1,998	学士 (コンピュータサイエンス)	1.18	平成15年度		
メディア学部 メディア学科	4	400	2年次 27人 3年次 12人	1,705	学士 (メディア学)	1.17	平成11年度		

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科（AC対象学部等を含む）について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「－」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<デザイン学部 デザイン学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	教授(学部長)	ミヤタ ヤヒロ 宮下 安弘 (74)	平成22年4月	デザイン概説Ⅰ(基礎) ※ 感性演習Ⅰ(描く) 感性演習Ⅱ(描く) 映像と構成専門研究 映像と構成卒業研究						
専	教授	クモト キョウジ 楠元 恭治 (63)	平成23年4月	デザイン論 デザイン史 デザイン概説Ⅱ(応用) ※ 広告論 視覚と伝達専門演習Ⅰ 視覚と伝達専門演習Ⅱ 視覚と伝達専門研究 視覚と伝達卒業研究	専	教授	及部 克人 (72) 後任未定	平成23年4月	デザイン論 デザイン史 デザイン概説Ⅱ(応用) ※ 広告論 視覚と伝達専門演習Ⅰ 視覚と伝達専門演習Ⅱ 視覚と伝達専門研究 視覚と伝達卒業研究	●●●●の後任として及部克人を専任・教授として採用。 平成22年9月教員審査済(23) 平成22年2月 ●●●●就任辞退のため(22) 「後任未定」 平成23年4月から専任教員採用予定で選考中
兼任	講師	クモト キョウジ 楠元 恭治 (63)	平成22年4月	デザイン論	専	准教授	石橋 宏 (44)	平成22年4月	デザイン史	平成22年2月 ●●●●辞退のため平成22年度の担当者を変更(22)
				デザイン史	専	教授	若林 尚樹 (51)	平成22年4月	デザイン概説Ⅱ(応用) ※	
				デザイン概説Ⅱ(応用) ※	専	准教授	伊藤 丙雄 (43)	平成22年4月	広告論	
専	教授	ヨカガ ショウジ 横川 昇二 (60)	平成23年4月	デザイン概説Ⅱ(応用) ※ 色彩応用論 企業研究 空間デザイン論 地域とデザイン スキル演習Ⅱ(空間シミュレーション) 空間と演出専門演習Ⅰ 空間と演出専門演習Ⅱ 空間と演出専門研究 空間と演出卒業研究					視覚と伝達専門演習Ⅰ	
兼任	講師	ヨカガ ショウジ 横川 昇二 (60)	平成22年4月	デザイン概説Ⅱ(応用) ※					視覚と伝達専門演習Ⅱ	
専	教授	ヤマカ シュンペイ 山岡 俊平 (56)	平成22年4月	デザイン概説Ⅰ(基礎) ※ 空間構成論 感性演習Ⅰ(関係づける) 感性演習Ⅱ(関係づける) 空間と演出専門研究 空間と演出卒業研究					視覚と伝達専門研究	
専	教授	クモト マサトシ 竹本 正壽 (55)	平成22年4月	デザイン概説Ⅱ(応用) ※ 映像論 CM表現論 スキル演習Ⅰ(イメージデザイン) 映像と構成専門演習Ⅰ 映像と構成専門演習Ⅱ 映像と構成専門研究 映像と構成卒業研究					視覚と伝達卒業研究	
専	教授	クマガイ シュウイチ 黒川 修一 (53)	平成22年4月	芸術論 美術史 企画と展示						
専	教授	タカハシ キヨシ 高橋 潔 (52)	平成22年4月	コンピュータリテラシーⅠ コンピュータ概論Ⅰ コンピュータ概論Ⅱ						

<デザイン学部 デザイン学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	教授	カバシ ナホ 若林 尚樹 (51)	平成22年4月	インターアクションデザイン スキル演習Ⅱ(インタラクティブWebデザイン) 視覚と伝達専門研究 視覚と伝達卒業研究						
専	教授	タカ スミ 田中 寿美 (旧姓 勝浦) (カウラ) (47)	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ 英語インテンシブⅠ 英語インテンシブⅡ 英語インテンシブⅢ 英語インテンシブⅣ						
専	准教授	イハシ ヒロシ 石橋 宏 (作家名:暮沢剛巳) (ケサキ タツミ) (44)	平成22年4月	デザインと社会論 編集論 現代アート論						
専	准教授	イトウ アサオ 伊藤 丙雄 (43)	平成22年4月	伝達論 ビクトグラムデザイン スキル演習Ⅰ(タイポグラフィ) 視覚と伝達専門演習Ⅰ 視覚と伝達専門演習Ⅱ 視覚と伝達専門研究 視覚と伝達卒業研究						
専	准教授	イトウ ヒデアキ 伊藤 英高 (41)	平成23年4月	構成論 メディアアート 映像と構成専門演習Ⅰ 映像と構成専門演習Ⅱ 映像と構成専門研究 映像と構成卒業研究						
専	准教授	サカ コウイチ 酒百 宏一 (41)	平成22年4月	デザイン概説Ⅰ(基礎) ※ プレゼンテーション技法 感性演習Ⅰ(伝える) 感性演習Ⅱ(伝える) 視覚と伝達専門研究 視覚と伝達卒業研究						
専	准教授	ホンコウ シンジ 本郷 信二 (41)	平成22年4月	デザイン概説Ⅰ(基礎) ※ 素材と加工 感性演習Ⅰ(つくる) 感性演習Ⅱ(つくる) 空間と演出専門研究 空間と演出卒業研究						
専	准教授	マツムラ セイイチロウ 松村 誠一郎 (39)	平成22年4月	デザイン概説Ⅰ(基礎) ※ コンピュータリテラシーⅡ サウンドデザイン論 スキル演習Ⅱ(サウンドデザイン) 映像と構成専門研究 映像と構成卒業研究						
専	准教授	ミヤノ ミヅエ 宮元 三恵 (38)	平成22年4月	図法および製図Ⅱ(応用) 空間と演出専門演習Ⅰ 空間と演出専門演習Ⅱ 空間と演出専門研究 空間と演出卒業研究						
専	講師	カトウ カズハ 加藤 一葉 (39)	平成23年4月	情報デザイン論 スキル演習Ⅰ(DTP) スキル演習Ⅱ(エディトリアルデザイン) 視覚と伝達専門研究 視覚と伝達卒業研究						

<デザイン学部 デザイン学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	講師	スエヲ シノ 末房 志野 (36)	平成23年4月	イラストレーション論 スキル演習Ⅰ(イラストレーション) 視覚と伝達専門演習Ⅰ 視覚と伝達専門演習Ⅱ 視覚と伝達専門研究 視覚と伝達卒業研究						
専	講師	カイ タダシ 酒井 正 (35)	平成23年4月	図法および製図Ⅰ(基礎) 動体構成論 感性演習Ⅰ(つくる) 感性演習Ⅱ(つくる) 空間と演出専門研究 空間と演出卒業研究						
兼任	講師	カイ タダシ 酒井 正 (35)	平成22年4月	感性演習Ⅰ(つくる)						
専	講師	ナシマ ケンタ 中島 健太 (32)	平成22年4月	デザイン概説Ⅰ(基礎) ※アニメーション論 感性演習Ⅰ(描く) 感性演習Ⅱ(描く) スキル演習Ⅱ(アニメーション) 映像と構成専門研究 映像と構成卒業研究						
専	講師	タムラ コロロ 田村 吾郎 (30)	平成22年4月	演出論 スキル演習Ⅱ(プロダクトシミュレーション) 空間と演出専門演習Ⅰ 空間と演出専門演習Ⅱ 空間と演出専門研究 空間と演出卒業研究						
専	講師	オホシ ケイタ 大西 景太 (29)	平成22年4月	色彩概論 スキル演習Ⅱ(映像編集) 映像と構成専門演習Ⅰ 映像と構成専門演習Ⅱ 映像と構成専門研究 映像と構成卒業研究						
専	助教	ケン セイホ 玄 世峰 (34)	平成22年4月	スキル演習Ⅰ(画像加工) 視覚と伝達専門演習Ⅰ 視覚と伝達専門演習Ⅱ 視覚と伝達専門研究 視覚と伝達卒業研究						
専	助教	イタミヤ トモキ 板宮 朋基 (34)	平成22年4月	スキル演習Ⅱ(プロダクトシミュレーション) スキル演習Ⅱ(空間シミュレーション) 空間と演出専門研究 空間と演出卒業研究						
専	助教	フカザワ ケンサク 深澤 健作 (31)	平成22年4月	感性演習Ⅰ(描く) 感性演習Ⅱ(描く) 映像と構成専門研究 映像と構成卒業研究						
兼任	教授	ヤマウラ トモオ 山浦 富雄 (63)	平成22年4月	統計学 物理の基礎 数学の基礎						
兼任	教授	クドウ マサヒロ 工藤 昌宏 (58)	平成22年4月	経済学						
兼任	教授	チヨウラ ヒロアキ 千代倉 弘明 (56)	平成24年9月	CAD設計論						
兼任	教授	オウ マサヒロ 奥 正廣 (56)	平成22年4月	心理学 コミュニケーション論 認知心理学						

<デザイン学部 デザイン学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
兼任	教授	コトウ クニオ 近藤 邦雄 (55)	平成23年4月	数理造形						
兼任	教授	オサキ ヒロユキ 尾崎 弘之 (50)	平成24年9月	経営・経済論						
兼任	教授	タケタ マサヒロ 竹田 昌弘 (49)	平成24年4月	マネジメント						
兼任	教授	メグロ ラモン 目黒 良門 (48)	平成24年4月	マーケティング論						
兼任	教授	サカマ ユウジ 佐久間 裕司 (50)	平成22年4月	スポーツ・コンディショニング 集中実技II						
兼任	准教授	オハイ コウカウ 落合 浩太郎 (47)	平成22年4月	政治学						
兼任	准教授	マツイ タイジ 松井 泰二 (43)	平成22年4月	栄養と健康 集中実技I	兼任	講師	アンベ ヒサタカ 安部 久貴 (32)	平成24年4月	栄養と健康 集中実技I	平成24年3月●●●●(兼任・准教授)が退職のため、平成24年度より担当者の変更(24)
兼任	准教授	ミチ ヒロカ 宮地 寛登 (39)	平成22年4月	生物の基礎						
兼任	講師	ムカミ ヤスロウ 村上 康二郎 (38)	平成22年4月	法学						
兼任	講師	シズミ ミミ 志水 美文 (旧姓 下村) (シモムラ) (37)	平成22年9月	環境と科学 化学の基礎						
兼任	講師	オホボリ セイイチ 尾登 誠一 (61)	平成23年9月	プロダクトデザイン論						
兼任	講師	トクモト コトヨ 徳元 琴代 (61)	平成22年9月	科学論						
兼任	講師	ウサグリ ノブアキ 鶴澤 信明 (56)	平成24年4月	スキル演習II(映像撮影 技法)						
兼任	講師	カガリ アキヒロ 中川 明博 (51)	平成22年4月	哲学						
兼任	講師	ナカムラ スズル 中村 卓 (49)	平成23年9月	写真論						
兼任	講師	マトバ シゲオ 的場 成夫 (46)	平成24年4月	知的財産論						
兼任	講師	キヨタ カスキ 清田 一樹 (47)	平成23年4月	スキル演習I(写真撮影 技法)						
兼任	講師	ニシマキ ジョウジ 西巻 丈児 (45)	平成23年9月	倫理学						
兼任	講師	キム シンテ 金 尚泰 (43)	平成23年9月	コンピュータグラフィックス論						
兼任	講師	イシハラ ジロウ 石原 次郎 (38)	平成23年4月	スキル演習I(グラフィックプログラミング)	兼任	講師	ハヤシ マサス 早瀬 将一 (31)	平成23年4月	スキル演習I(グラフィックプログラミング)	平成23年3月●●●●(兼任・講師)辞任のため平成23年度より担当者の変更(23)
兼任	講師	エガリ ジュンイチ 江川 純一 (35)	平成23年4月	宗教学						
兼任	講師	キノ リン 矢野 りん (35)	平成23年4月	スキル演習I(Webページデザイン)						

<デザイン学部 デザイン学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
兼任	講師	ミッシェル ホッチェク Michelle Bochenek (32)	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュ I フレッシュマンイングリッシュ II						
兼任	講師	マイケル モンデジャー Michael Mondejar (30)	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュ I フレッシュマンイングリッシュ II						
兼任	講師	マシュー リビングストーン Matthew Livingston (27)	平成23年4月	英語インテンシブ I 英語インテンシブ II						
兼任	講師	アイーシャ アリ Iyshea Ali (25)	平成23年4月	英語インテンシブ I 英語インテンシブ II						

- (注) ・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・年齢は、「認可時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成24年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

<デザイン学部 デザイン学科>

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
9	7	6	3	25	0	9	7	6	3	25	0	
(7)	(6)	(3)	(3)	(19)	(0)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	教授	●●●●	平成22年2月、健康上の理由により、平成22年度の兼任教員及び平成23年度からの専任教員の就任を辞退。

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>●●●●が担当することになっていたそれぞれの科目については、他の専任教員が対応するなどして認可時の計画どおり全科目を開講していることから、特に支障はないと考える。(22)</p> <p>●●●●の後任として、平成23年4月から、及部克人が専任教員(教授)として就任し、それぞれの科目を担当していることから、認可時の計画通り全科目を開講している。(23)</p>

(注) ・ 上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

<医療保健学部 看護学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	教授(学科長)	ササキ シュンコ 佐々木 順子 (66)	平成22年4月	フレッシュャーズゼミ 保健医療福祉論 公衆衛生学 疫学 地域看護学概論 健康学習論 地域看護学Ⅰ(地域看護学方法論) ※ 地域看護学Ⅱ(対象別保健活動の展開) ※ 地域看護学実習 地域ケアシステム論 看護研究 英語講読 統合看護実習 卒業研究				平成24年4月	公衆衛生看護学概論 旧カリキュラム：地域看護学概論 公衆衛生看護学Ⅰ (公衆衛生看護学方法論) ※ 旧カリキュラム： 地域看護学Ⅰ (地域看護学方法論) 公衆衛生看護学Ⅱ (対象別保健活動の展開) ※ 旧カリキュラム： 地域看護学Ⅱ(対象別保健活動の展開)	保健師助産師看護師学校要請所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から授業科目名称を変更(24)平成23年9月教員審査済
専	教授	オミヤ アキコ 奥宮 暁子 (63)	平成24年4月	フレッシュャーズゼミ 成人看護学Ⅰ(周手術期ケア・クリティカルケア) ※ 成人看護学Ⅱ(生活調整・生活再構築) ※ 成人看護技術演習 成人看護学実習 リハビリテーションケア 看護研究 英語講読 統合看護実習 卒業研究						
専	教授	サイトウ シカコ 齊藤 茂子 (59)	平成22年4月	フレッシュャーズゼミ 看護学概論 基礎看護技術Ⅰ(看護共通技術) 基礎看護技術Ⅱ(日常生活の援助技術Ⅰ) 基礎看護技術Ⅲ(日常生活の援助技術Ⅱ) 基礎看護技術Ⅳ(診療の援助技術) 基礎看護学実習Ⅰ(人間形成) 基礎看護学実習Ⅱ(看護過程) 英語講読 統合看護実習 看護管理学 看護研究 卒業研究						
専	教授	シバヤ ケイコ 澁谷 恵子 (56)	平成22年4月	フレッシュャーズゼミ 基礎看護技術Ⅰ(看護共通技術) 基礎看護技術Ⅱ(日常生活の援助技術Ⅰ) 基礎看護技術Ⅲ(日常生活の援助技術Ⅱ) 基礎看護技術Ⅳ(診療の援助技術) 看護倫理 基礎看護学実習Ⅰ(人間形成) 基礎看護学実習Ⅱ(看護過程) 看護研究 英語講読 統合看護実習 卒業研究 看護教育学						

<医療保健学部 看護学科>

認可時の計画				変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名		
専	教授	ナカオ リョウコ 中尾 僚子 (52)	平成23年4月							
専	教授	キノウ タエコ 木内 妙子 (53)	平成22年4月							
専	教授	コハヤシ ヨシコ 小林 美子 (51)	平成22年4月							
専	教授	イシカワ フミヨ 石川 ふみよ (49)	平成22年4月							
専	教授	ノザリ ミエコ 野澤 美江子 (49)	平成22年4月							
専	准教授	イガラシ チョ 五十嵐 千代 (46)	平成22年4月				平成24年4月	産業看護演習		保健師助産師看護師学校要請所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から科目を追加(24)平成23年9月教員審査済

<医療保健学部 看護学科>

認可時の計画				変更状況				備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	
専任	准教授	アラゾエ ミキ 荒添 美紀 (48)	平成23年4月					平成23年4月から就任する予定であったが、平成22年4月から本学部専任准教授に就任したため。 平成21年7月教員審査済。 (22)
				専任	講師	アラゾエ ミキ 荒添 美紀 (48)	平成22年4月	
専任	准教授	アマノ マサミ 天野 雅美 (47)	平成24年4月					平成24年4月から就任する予定であったが、平成22年4月から本学部専任准教授に就任したため。 平成21年7月教員審査済。 (22)
				兼任	講師	アマノ マサミ 天野 雅美 (47)	平成22年4月	
専任	准教授	セノ ヒロコ 妹尾 弘子 (42)	平成24年4月					平成24年4月から就任する予定であったが、平成22年4月から本学部専任准教授に就任したため。 平成21年7月教員審査済。 (22)
				専任	講師	セノ ヒロコ 妹尾 弘子 (42)	平成22年4月	
専任	講師	コバヤシ サユリ 小林 小百合 (47)	平成22年4月					
専任	講師	ウレハ 王 麗華 (41)	平成22年4月					
専任	助教	ミヨトモミ 三好 智美 (50)	平成23年4月				平成24年4月	保健師助産師看護師学校要請所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から授業科目名称を変更(24)
専任	助教	カシマ トシ 中嶋 諭 (47)	平成22年4月		専任	助教	オダ ヒロコ 太田 浩子 (46) -後任未定-	平成23年3月 ●●●●助教が一身上の都合により退職のため(23) 「後任未定」 平成24年4月から専任教員採用予定で選考中 ●●●●助教の後任として、太田浩子を助教として採用(24) 平成23年9月教員審査済(24)

<医療保健学部 看護学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	助教	モリガネ シノ 森實 詩乃 (45)	平成22年4月	在宅看護学実習 統合看護実習						
専	助教	ヤマモト カヨコ 山本 佳代子 (45)	平成22年4月	成人看護学Ⅰ(周手術期 ケア・クリティカルケ ア)※ 成人看護学Ⅱ(生活調 整・生活再構築)※ 成人看護技術演習 成人看護学実習 統合看護実習						
専	助教	エントウ シュンコ 遠藤 順子 (42)	平成22年4月	基礎看護学実習Ⅰ(人間 形成) 基礎看護学実習Ⅱ(看護 過程) 統合看護実習						
専	助教	ミナリ ミヨ 峯川 美弥子 (42)	平成22年4月	成人看護学Ⅰ(周手術期 ケア・クリティカルケ ア)※ 成人看護学Ⅱ(生活調 整・生活再構築)※ 成人看護技術演習 成人看護学実習 統合看護実習			後任未定			平成24年3月 ●●●●助教が一 身上の都合により退職(24) 「後任未定」 ●●●●が担当していた すべての科目については、 他に担当者が複数いるため 支障はないが、平成25年3月 までに補充予定。
専	助教	サカモト タキ 坂本 多喜子 (41)	平成22年4月	基礎看護学実習Ⅰ(人間 形成) 基礎看護学実習Ⅱ(看護 過程) 統合看護実習						
専	助教	タケナリ ヒロ 武澤 千尋 (40)	平成22年4月	地域看護学Ⅰ(地域看護 方法論)※ 地域看護学Ⅱ(対象別保 健活動の展開)※ 地域看護学実習 統合看護実習			後任未定			平成23年9月 ●●●●助教が一 身上の都合により退職(24) 「後任未定」 ●●●●が担当していた すべての科目については、 他に担当者が複数いるため 支障はないが、平成25年3月 までに補充予定。
兼任	教授	ヤマウチ トモオ 山浦 富雄 (63)	平成22年4月	物理の基礎 数学の基礎 統計学						
兼任	教授	カウ ヨウ 加藤 洋 (68)	平成22年4月	人体構造学 病理生理学Ⅰ(総論) 病理生理学Ⅱ(各論)						
兼任	教授	シノハラ カズヒロ 篠原 一彦 (49)	平成23年4月	疾病治療論Ⅰ(外科系医 学) 医療安全・人間工学概論 先端医療総合講義						
兼任	准教授	ミチ ヒロカ 宮地 寛登 (39)	平成22年4月	医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 生物の基礎						
兼任	講師	ミナミ シュンコ 南 順子 (40)	平成22年4月	人体構造学						
兼任	講師	シズミ マミ 志水 美文 (37)	平成22年4月	医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 化学の基礎						
兼任	教授	カマクラ ケイコ 鎌倉 恵子 (63)	平成23年9月	疾病治療論Ⅱ(内科系医 学)						
兼任	教授	ヤギサキ ノブオ 柳澤 信夫 (74)	平成22年4月	医学概論 リハビリテーション概論						
兼任	講師	カシハミ サト 加柴 美里 (42)	平成22年4月	医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 栄養代謝学						
兼任	教授	クドウ マサヒロ 工藤 昌宏 (58)	平成22年4月	経済学						
兼任	教授	オカ マサヒロ 奥 正廣 (56)	平成22年9月	心理学 コミュニケーション論						
兼任	教授	カカリ シュウイチ 黒川 修一 (53)	平成22年4月	芸術論						
兼任	教授	タカハシ キヨシ 高橋 潔 (53)	平成22年4月	コンピュータリテラシー 演習Ⅰ コンピュータリテラシー 演習Ⅱ コンピュータ概論Ⅰ コンピュータ概論Ⅱ						

<医療保健学部 看護学科>

認可時の計画				変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		授業担当科目名
兼任	教授	サカ ユウジ 佐久間 裕司 (51)	平成22年9月	スポーツ・コンディショニング 集中実技Ⅱ						
兼任	教授	オサキ ヒロユキ 尾崎 弘之 (50)	平成23年9月	医療経済学						
兼任	教授	タカ スミ 田中 寿美 (47)	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ 英語インテンシブⅠ 英語インテンシブⅡ						
兼任	准教授	オハイ コウタロウ 落合 浩太郎 (47)	平成22年4月	政治学						
兼任	准教授	マツイ タイジ 松井 泰二 (43)	平成22年4月	栄養と健康 集中実技Ⅰ	兼任	講師	アンベ ヒサタカ 安部 久貴 (32)	平成24年4月	栄養と健康 集中実技Ⅰ	平成24年3月 ●●●●(兼任・准教授)が退職のため、平成24年4月より、担当者の変更(24)
兼任	講師	ムカミ ヤシロウ 村上 康二郎 (38)	平成22年9月	法学						
兼任	助教	シンボ トシヒロ 新保 年弘 (38)	平成23年9月	臨床工学演習						
兼任	教授	ハシノ サトシ 橋野 賢 (62)	平成23年4月	応用コンピュータⅠ 応用コンピュータⅡ 応用コンピュータ演習Ⅰ 応用コンピュータ演習Ⅱ						
兼任	教授	ヤノ カスヨシ 矢野 和義 (43)	平成23年4月	臨床微生物・免疫学						
兼任	講師	フクダ ジュン 福田 潤 (69)	平成22年9月	人体機能学						
兼任	講師	キムラ タカ 木村 賛 (68)	平成23年4月	人間学						
兼任	講師	コイケ カズコ 小池 和子 (67)	平成24年4月	健康環境論						
兼任	講師	サトウ カズエ 佐藤 和恵 (67)	平成23年9月	臨床薬理学						
兼任	講師	タケミ ユウジ 垂水 雄二 (67)	平成22年9月	生命倫理						
兼任	講師	タカヤキ カズエ 高柳 和江 (64)	平成22年4月	癒しのケア学						
兼任	講師	ヤマザキ タケ 山崎 達枝 (58)	平成25年9月	災害看護学						
兼任	講師	トクモト コトヨ 徳元 琴代 (61)	平成22年9月	科学論						
兼任	講師	カワグチ タカキス 川口 孝泰 (54)	平成23年4月	看護工学						
兼任	講師	タケチ シンイチ 竹内 真一 (54)	平成23年9月	画像評価学						
兼任	講師	ヤマウリ ユリコ 山川 百合子 (52)	平成23年4月	疾病治療論Ⅲ(産科・小児・精神医学)※	兼任	講師	イトカワ マサナリ 糸川 昌成 (50)	平成24年4月	疾病治療論Ⅲ(産科・小児・精神医学)※	平成24年3月 ●●●●兼任・講師が辞任のため、平成24年度より担当者の変更(24)
兼任	講師	イシガキ キョウコ 石垣 恭子 (51)	平成24年4月	医療・看護情報学 看護情報システム論						
兼任	講師	キチ アキラ 菊地 陽 (50)	平成23年4月	疾病治療論Ⅲ(産科・小児・精神医学)※	兼任	講師	キネ カジ 関根 孝司 (54) ●●●●	平成24年4月 平成23年4月	疾病治療論Ⅲ(産科・小児・精神医学)※	平成24年3月 ●●●●兼任・講師が辞任のため、平成24年度より担当者の変更(24) 平成23年3月 ●●●●兼任・講師が辞任のため、平成23年度より担当者の変更(23)

<医療保健学部 看護学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
兼任	講師	ナカガリ アキヒロ 中川 明博 (51)	平成22年4月	哲学						
兼任	講師	オオサキ エイコ 大澤 栄子 (48)	平成23年9月	感染制御ケア						
兼任	講師	サテモト タカオ 袖本 武男 (46)	平成23年4月	疾病治療論Ⅲ(産科・小児・精神医学)※						
兼任	講師	ニシマキ ジョウジ 西巻 丈児 (45)	平成23年9月	倫理学						
兼任	講師	エントウ クミ 遠藤 久美 (43)	平成25年9月	パリアティブケア						
兼任	講師	ツカモト ナオコ 塚本 尚子 (44)	平成23年4月	発達心理学 臨床心理学	兼任	講師	キシ タツマ 岸 竜馬 (34)	平成24年4月	臨床心理学	平成24年3月 ●●●●(兼任・講師)が「臨床心理学」の担当を辞退したため、平成24年度より担当者の変更(24)
兼任	講師	トマヘチ シン 苔米地 伸 (41)	平成23年4月	家族社会学						
兼任	講師	タカハシ ヒロコ 高橋 寛子 (35)	平成24年4月	臨床栄養学						
兼任	講師	エガワ ジュンイチ 江川 純一 (35)	平成24年4月	宗教学						
兼任	講師	スコット スペンサー Scott Spencer (34)	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ						
兼任	講師	マリナ バイキスト Marina Byquist (25)	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ						
兼任	講師	ヤマモト ミチヨ 山本 美智代 (42)	平成24年4月	小児看護学Ⅱ (病気の子どもへのアセスメントと看護の実践)※						
兼任	講師	コバヤシ ナミ 小林 奈美 (40)	平成23年4月	家族看護学						

- (注)・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**認可時の計画**」には当該学部等の**就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成24年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ 専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

<医療保健学部 看護学科>

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
9 (7)	4 (1)	2 (2)	8 (7)	23 (17)	8 (2)	9 [0]	4 [0]	2 [0]	6 [△2]	21 [△2]	7 [△1]	助教 [△2] 及び助手 [△1] については、平成25年3月までに補充する予定。

(注) ・ 「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	助教	●●●●	平成23年3月、一身上の都合により退職
2	助教	●●●●	平成23年9月、一身上の都合により退職
3	助教	●●●●	平成24年3月、一身上の都合により退職

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>●●●●が担当することになっていたそれぞれの実習科目については、平成24年度から開講することになっているため、平成24年4月から専任教員を採用することで、特に支障はないと考える。(23)</p> <p>●●●●が担当することになっていたそれぞれの科目については、担当が「可」となっている他の専任教員が対応するなどして認可時の計画どおり全科目を開講していることから、特に支障はないと考える。(24)</p> <p>●●●●が担当することになっていたそれぞれの科目については、担当が「可」となっている他の専任教員が対応するなどして認可時の計画どおり全科目を開講していることから、特に支障はないと考える。(24)</p>
--

(注) ・ 上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

<医療保健学部 臨床工学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	教授(学科長)	ヤマウラ トモオ 山浦 富雄 (63)	平成22年4月	フレッシュアーズゼミ 物理の基礎 数学の基礎 統計学 数学(線形代数) 数学(微分積分) 数学(応用解析学) 電気工学 工学実験Ⅰ 工学実験Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	教授	カノ ヨシ 加藤 洋 (68)	平成22年4月	フレッシュアーズゼミ 人体解剖学Ⅰ 人体解剖学Ⅱ 病理学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	教授	タケガキ スオ 武田 朴 (63)	平成22年4月	フレッシュアーズゼミ 電子工学Ⅰ 電子工学Ⅱ 工学実験Ⅰ 工学実験Ⅱ 工学演習Ⅰ 工学演習Ⅱ 医用画像工学 生体計測機器学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	教授	セン イ 銭 逸 (49)	平成22年4月	フレッシュアーズゼミ 機械工学Ⅱ 工学実験Ⅰ 工学実験Ⅱ 工学演習Ⅰ 工学演習Ⅱ 体外循環装置学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授	カタケラ ヒロシ 片倉 寛 (63)	平成24年4月	フレッシュアーズゼミ 機械工学Ⅱ 工学実験Ⅰ 工学実験Ⅱ 工学演習Ⅰ 工学演習Ⅱ 体外循環装置学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	平成24年3月 ●●●●教授が一人上の都合により退職のため、平成24年度より担当者を変更(24) 平成24年1月教員審査済(24)
					専	准教授	ナエムラ キヨシ 苗村 潔 (41)	平成24年4月	体外循環装置学	平成24年3月 ●●●●教授が一人上の都合により退職のため、平成24年度より担当者を変更(24) 平成24年1月教員審査済(24)
専	教授	シノハラ カズヒロ 篠原 一彦 (49)	平成22年4月	フレッシュアーズゼミ 医療安全・人間工学概論 先端医療総合講義 外科系臨床医学Ⅰ 外科系臨床医学Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	准教授	ナエムラ キヨシ 苗村 潔 (39)	平成22年4月	フレッシュアーズゼミ 電気工学 機械工学Ⅰ システム制御工学 工学実験Ⅰ 工学実験Ⅱ 工学演習Ⅰ 工学演習Ⅱ 医用治療機器学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	准教授	ナエムラ キヨシ 苗村 潔 (41)	平成24年4月	体外循環装置学	担当科目の追加(24) 平成24年1月教員審査済(24)
専	准教授	ミヤチ ヒロカ 宮地 寛登 (39)	平成22年4月	フレッシュアーズゼミ 生物の基礎 医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 医用物性材料工学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	助教	ミズシマ イワリ 水島 岩徳 (48)	平成22年4月	フレッシュアーズゼミ 医用機器実習 生体機能代行装置実習Ⅰ 生体機能代行装置実習Ⅱ 医療機器安全管理学実習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	講師	ヒタケ ナエ 日向 奈恵 (42)	平成22年4月	フレッシュアーズゼミ 基礎医学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						

<医療保健学部 臨床工学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	講師	ナメ ジュンコ 南 順子 (40)	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 基礎医学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	講師	シスイ ミミ 志水 美文 (37)	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 化学の基礎 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	助教	コノケ チカ 木浦 千夏子 (44)	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 医用機器実習 呼吸療法装置学 生体機能代行装置実習Ⅱ 医療機器安全管理学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	助教	シンボ トシロ 新保 年弘 (38)	平成23年4月	生体機能代行装置実習Ⅰ 生体機能代行装置実習Ⅱ 臨床実習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ						
専	助教	ツカオ ヒロシ 塚尾 浩 (35)	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 血液浄化装置学 生体機能代行装置実習Ⅰ 臨床実習 専門演習Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床工学セミナー						
兼任	教授	ササキ ジュンコ 佐々木 順子 (66)	平成23年4月	公衆衛生学						
兼任	教授	サイトウ シゲコ 斉藤 茂子 (59)	平成22年9月	看護学概論						
兼任	教授	カマクラ ケイ 鎌倉 恵子 (63)	平成23年4月	内科系臨床医学Ⅰ 内科系臨床医学Ⅱ						
兼任	教授	ヤキキチ ノブオ 柳澤 信夫 (74)	平成22年4月	医学概論						
兼任	教授	ハシノ サトシ 橋野 賢 (62)	平成23年4月	応用コンピュータⅠ 応用コンピュータⅡ 応用コンピュータ演習Ⅰ 応用コンピュータ演習Ⅱ						
兼任	教授	ヤノ カズヨシ 矢野 和義 (43)	平成23年4月	臨床微生物・免疫学						
兼任	講師	カシハ ミチ 加柴 美里 (42)	平成22年4月	医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 臨床生化学						
兼任	教授	クノケ マサヒロ 工藤 昌宏 (58)	平成22年4月	経済学						
兼任	教授	オク マサヒロ 奥 正廣 (56)	平成22年9月	心理学 コミュニケーション論						
兼任	教授	クノケ シュウイチ 黒川 修一 (53)	平成22年4月	芸術論						
兼任	教授	タカハシ キヨシ 高橋 潔 (53)	平成22年4月	コンピュータリテラシー演習Ⅰ コンピュータリテラシー演習Ⅱ コンピュータ概論Ⅰ コンピュータ概論Ⅱ 情報工学特論						
兼任	教授	サカマ ユウジ 佐久間 裕司 (51)	平成22年9月	スポーツ・コンディショニング 集中実技Ⅱ						
兼任	教授	オサキ ヒロユキ 尾崎 弘之 (50)	平成23年9月	医療経済学						

<医療保健学部 臨床工学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
兼任	教授	オカミ 田中 寿美 (47)	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ 英語インテンシブⅠ 英語インテンシブⅡ						
兼任	准教授	オハイ コウロウ 落合 浩太郎 (47)	平成22年4月	政治学						
兼任	准教授	マツイ タイジ 松井 泰二 (43)	平成22年4月	栄養と健康 集中実技Ⅰ	兼任	講師	アンベ ヒサタカ 安部 久貴 (32)	平成24年4月	栄養と健康 集中実技Ⅰ	平成24年3月 ●●●●(兼任・准教授)が退職のため、平成24年度より担当者の変更(24)
兼任	講師	ムカミ ヤスジ 村上 康二郎 (38)	平成22年9月	法学						
兼任	講師	フクダ ジュン 福田 潤 (69)	平成22年9月	生理学Ⅰ 生理学Ⅱ						
兼任	講師	サトウ カスエ 佐藤 和恵 (67)	平成23年9月	臨床薬理学						
兼任	講師	タケミ ユウジ 垂水 雄二 (67)	平成22年9月	生命倫理						
兼任	講師	トクモ トヨ 徳元 琴代 (61)	平成22年9月	科学論						
兼任	講師	ナカガワ アキヒロ 中川 明博 (51)	平成22年4月	哲学						
兼任	講師	ニシマキ ジョウジ 西巻 丈児 (45)	平成23年9月	倫理学						
兼任	講師	ツカモト ナホ 塚本 尚子 (45)	平成23年9月	臨床心理学	兼任	講師	キシ タツマ 岸 竜馬 (34)	平成24年4月	臨床心理学	平成24年3月 ●●●●(兼任・講師)が「臨床心理学」の担当を辞退したため、平成24年度より担当者の変更(24)
兼任	講師	エガワリ ジュンイチ 江川 純一 (35)	平成23年4月	宗教学						
兼任	講師	スコット スペンサー Scott Spencer (34)	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ						
兼任	講師	マリナ バイキスト Marina Byquist (25)	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ						
兼任	講師	オノ リアキ 小野 哲章 (49)	平成24年4月	医療機器安全管理学						
兼任	講師	ノダ セイジ 野田 雅司 (51)	平成25年9月	医療情報演習						

- (注) ・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・年齢は、「認可時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成24年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 ・専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等担当することは出来ません。

<医療保健学部 臨床工学科>

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
5	2	3	4	14	2	5	2	3	4	14	0	助手△2については、演習講師を7～11名採用し、補助していることから支障はないが、平成25年3月までに補充する予定。(24)
(5)	(2)	(3)	(3)	(13)	(0)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(注)・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

「該当なし」

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	教授	●●●●	平成24年3月、一身上の都合により退職。(24)

(注)・専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

●●●●が担当することになっていた科目については、後任の片倉寛教授と苗村潔准教授がそれぞれの科目を担当し、認可時の計画どおり全科目を開講していることから、特に支障はないと考える。(24)

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	教授 (学科長)	イトウ ナオイ 伊藤 直榮 (76)	平成22年4月	理学療法入門 臨床実習Ⅰ(見学) 臨床実習Ⅱ(検査測定)	専	助教	ミウラ タツヒロ 三浦 達浩 (43)	平成24年4月	臨床実習Ⅰ(見学) 臨床実習Ⅱ(検査測定)	平成21年11月 ●●●●が死亡(22) 「後任未定」 平成23年4月から専任教 員採用予定で選考中。 「後任未定」 平成24年4月から専任教 員採用予定で選考中(23) 平成21年11月 ●●●●教授が退職のため平成 24年度より担当者を変更(24) 平成23年9月教員審査済(24) 「理学療法入門」については他 に担当者が複数いるため支障は ない(24)
専	教授	カクラ ケイコ 鎌倉 恵子 (63)	平成23年4月	フレッシュアーズゼミ 一般臨床医学 神経内科学 リハビリテーション医学 卒業研究						
専	教授	カヤマ カシ 中山 孝 (52)	平成22年4月	フレッシュアーズゼミ キネシオロジー キネシオロジー演習 理学療法総合演習 理学療法ゼミ 卒業研究 マニュアルセラピー実習 臨床実習Ⅰ(見学) 臨床実習Ⅳ(インターン) 運動器系理学療法評価学	専	教授 (学科長)	カヤマ カシ 中山 孝 (52)	平成22年4月		
専	准教授	アミモト カズ 網本 和 (52)	平成24年4月	フレッシュアーズゼミ 理学療法研究 理学療法ゼミ 卒業研究 神経系理学療法評価学 神経系理学療法学 臨床実習Ⅲ(評価)	兼任	講師	アミモト カズ 網本 和 (54)	平成24年4月	神経系理学療法評価学 神経系理学療法学	平成24年3月 ●●●●准教授が就任辞退のため、 担当者の変更(24) 「神経系理学療法評価学」 「神経系理学療法学」につい ては、網本和が兼任講師とし て担当。 「臨床実習Ⅲ」については 平成23年9月教員審査済(24) 「フレッシュアーズゼミ」「理 学療法研究」「理学療法ゼ ミ」「卒業研究」につい ては、他に担当教が複数いる ため支障はない(24)
兼任	講師	アミモト カズ 網本 和 (52)	平成23年9月	神経系理学療法評価学						
専	教授	カハシ テツヤ 高橋 哲也 (42)	平成23年4月	理学療法研究 卒業研究 機能・能力測定演習 内部障害系理学療法評価学 内部障害系理学療法学 実習						
専	教授	コマツ タイキ 小松 泰喜 (42)	平成22年4月	フレッシュアーズゼミ 理学療法ゼミ 卒業研究 運動療法実習 運動器系理学療法学実習 スポーツ科学理学療法学 演習 臨床実習Ⅱ(検査測定) 運動療法						
専	准教授	ミヤザキ カアキ 宮崎 貴朗 (49)	平成24年4月	フレッシュアーズゼミ 理学療法入門 理学療法ゼミ 卒業研究 運動器系理学療法学実習 老年期理学療法学 日常生活活動論実習 臨床実習Ⅲ(評価) 日常生活活動論 生活環境学						
兼任	講師	ミヤザキ カアキ 宮崎 貴朗 (49)	平成22年4月	理学療法入門 日常生活活動論						

<医療保健学部 理学療法学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	准教授	イグロケイイチ 石黒 圭広 (51)	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ キネシオロジー キネシオロジー演習 クリニカル・キネシオロジー演習 リハビリテーション工学 卒業研究 物理療法 義肢装具学実習 運動器系理学療法学 義肢装具学演習						
専	准教授	スガワ ヒロ 菅原 仁 (42)	平成23年4月	フレッシュヤーズゼミ 理学療法総合演習 卒業研究 運動器系理学療法学評価学 物理療法実習 臨床実習IV (インターン)						
専	講師	マサダ ミハ 真寿田 三葉 (42)	平成24年4月	フレッシュヤーズゼミ 理学療法研究 卒業研究 機能・能力測定演習 運動療法実習 内部障害系理学療法学 内部障害系理学療法学実習						
兼任	講師	マサダ ミハ 真寿田 三葉 (42)	平成22年9月	機能・能力測定演習 運動療法実習						
専	講師	カイリエ 河西 理恵 (43)	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ キネシオロジー演習 理学療法入門 卒業研究 マニュアルセラピー						
専	講師	クリタ ヒデアキ 栗田 英明 (40)	平成24年4月	フレッシュヤーズゼミ 理学療法総合演習 卒業研究 神経系理学療法学評価学 神経系理学療法学実習 内部障害系理学療法学 発達障害系理学療法学演習						
兼任	講師	クリタ ヒデアキ 栗田 英明 (40)	平成23年9月	神経系理学療法学評価学						
専	助教	ヨシタ シンイチ 吉田 真一 (43)	平成24年4月	クリニカル・キネシオロジー演習 理学療法入門 機能・能力測定演習						
兼任	講師	ヨシタ シンイチ 吉田 真一 (43)	平成22年4月	理学療法入門 機能・能力測定演習						
専	助教	サトリ ユウコ 佐藤 裕子 (33)	平成24年4月	発達障害系理学療法学演習 日常生活活動論実習			後任未定			平成23年12月 ●●●●助教が一身上の都合により就任辞退(24) 「後任未定」他に担当者がいるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定。
専	助教	ムトウ トモカズ 武藤 友和 (31)	平成22年4月	臨床実習Ⅰ(見学) 臨床実習Ⅱ(検査測定)						
専	助教	ヨシマツ タツキ 吉松 竜貴 (30)	平成22年4月	機能・能力測定 臨床実習Ⅲ(評価) 臨床実習Ⅳ(インターン)						
					専	助教	ガガミ ヒロフミ 地神 裕史 (32)	平成24年4月	臨床実習Ⅰ(見学) 臨床実習Ⅱ(検査測定) 臨床実習Ⅲ(評価) 臨床実習Ⅳ(インターン)	実習指導体制の充実を図り、専任教員(助教)を追加(24) 平成23年9月教員審査済(24)
					専	助教	ミウラ タツヒロ 三浦 達浩 (43)	平成24年4月	臨床実習Ⅳ(インターン)	実習指導体制の充実を図り、専任教員(助教)を追加(24) 平成23年9月教員審査済(24)
兼任	教授	ササキ ジュンコ 佐々木 順子 (66)	平成24年4月	公衆衛生学						
兼任	教授	ヤマダ トシオ 山浦 富雄 (63)	平成22年4月	物理の基礎 数学の基礎 統計学						
兼任	教授	カトリ ヨシ 加藤 洋 (68)	平成22年4月	人体構造学Ⅰ 人体構造学Ⅱ 解剖学実習Ⅰ 解剖学実習Ⅱ 病理・組織学演習 病理学						
兼任	教授	シハラ カスヒコ 篠原 一彦 (49)	平成24年9月	医療安全・人間工学概論 先端医療総合講義 リスク管理論						

<医療保健学部 理学療法学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
兼任	准教授	ミチ ヒロカ 宮地 寛登 (39)	平成22年4月	医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 生物の基礎						
兼任	講師	ミナ ジュンコ 南 順子 (40)	平成22年9月	解剖学実習Ⅰ 解剖学実習Ⅱ						
兼任	講師	シズミ ミミ 志水 美文 (37)	平成22年4月	医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 化学の基礎 生理学実習						
兼任	教授	ヤナギ サヲ ノブオ 柳澤 信夫 (74)	平成22年4月	老年医学 医学概論						
兼任	教授	ハシノ トシ 橋野 賢 (62)	平成23年4月	応用コンピュータⅠ 応用コンピュータⅡ 応用コンピュータ演習Ⅰ 応用コンピュータ演習Ⅱ						
兼任	教授	ヤノ カズヨシ 矢野 和義 (43)	平成23年4月	臨床微生物・免疫学						
兼任	准教授	オオシマ リュウイチロウ 大島 隆一郎 (48)	平成22年9月	人間発達学						
兼任	講師	カシバ ミチト 加柴 美里 (42)	平成22年4月	医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 栄養代謝学						
兼任	教授	クドウ マサヒロ 工藤 昌宏 (58)	平成22年4月	経済学						
兼任	教授	オカ マサヒロ 奥 正廣 (56)	平成22年9月	心理学 コミュニケーション論						
兼任	教授	クロカワ シュウイチ 黒川 修一 (53)	平成22年4月	芸術論						
兼任	教授	タカハシ キヨシ 高橋 潔 (53)	平成22年4月	コンピュータリテラシー演習Ⅰ コンピュータリテラシー演習Ⅱ コンピュータ概論Ⅰ コンピュータ概論Ⅱ						
兼任	教授	サカタ ユウジ 佐久間 裕司 (51)	平成22年9月	スポーツ・コンディショニング 集中実技Ⅱ						
兼任	教授	オノネ ヒロユキ 尾崎 弘之 (50)	平成23年9月	医療経済学						
兼任	教授	タカミ スミ 田中 寿美 (51)	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ 英語インテンシブⅠ 英語インテンシブⅡ						
兼任	准教授	オチアイ コウタロウ 落合 浩太郎 (47)	平成22年4月	政治学						
兼任	准教授	マツイ タイジ 松井 泰二 (43)	平成22年4月	栄養と健康 集中実技Ⅰ	兼任	講師	アンベ ヒサタカ 安部 久貴 (32)	平成24年4月	栄養と健康 集中実技Ⅰ	平成24年3月 ●●●●(兼任・准教授)が退職のため、平成24年度より担当者を変更(24)
兼任	講師	ムラカミ ケンジ 村上 康二郎 (38)	平成22年9月	法学						
兼任	講師	サトウ カズエ 佐藤 和恵 (67)	平成23年9月	臨床薬理学						
兼任	講師	タケミ ユウジ 垂水 雄二 (67)	平成22年9月	生命倫理						
兼任	講師	トクモト コトヨ 徳元 琴代 (61)	平成22年9月	科学論						

<医療保健学部 理学療法学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
兼任	講師	タケチ シンイチ 竹内 真一 (54)	平成23年9月	画像評価学						
兼任	講師	ヤマカワ ユキオ 山川 百合子 (52)	平成23年4月	精神医学	兼任	講師	タカハシ マサオ 高橋 正雄 (57)	平成24年4月	精神医学	平成24年3月 ●●●●兼任・講師が一身上の都合により辞任。平成24年度より担当者を変更 (24)
兼任	講師	ナカガワ アキヒロ 中川 明博 (51)	平成22年4月	哲学						
兼任	講師	ニシマキ ジョウジ 西巻 丈児 (45)	平成23年9月	倫理学						
兼任	講師	ツカモト ナホ 塚本 尚子 (45)	平成23年9月	臨床心理学	兼任	講師	キシ タツマ 岸 竜馬 (34)	平成24年4月	臨床心理学	平成24年3月 ●●●●兼任・講師が一身上の都合により辞任。平成24年度より担当者を変更 (24)
兼任	講師	トマベチ シン 苔米地 伸 (41)	平成23年4月	家族社会学						
兼任	講師	エガワ ジュンイチ 江川 純一 (35)	平成23年4月	宗教学						
兼任	講師	スコット スペンサー Scott Spencer (34)	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュ I フレッシュマンイングリッシュ II						
兼任	講師	マリナ バイクイスト Marina Byquist (25)	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュ I フレッシュマンイングリッシュ II						
兼任	講師	ノダ セイジ 野田 雅司 (51)	平成25年9月	医療情報演習						
兼任	講師	カムラ ヨシイロ 加村 壯一郎 (58)	平成23年4月	整形外科学						
兼任	講師	スズキ ヒサユキ 鈴木 文晴 (58)	平成23年9月	小児科学						
兼任	講師	ハマノエ マコト 浜之上 誠 (45)	平成22年4月	生理学 I 生理学 II 生理学実習						
兼任	講師	クロカワ ユキオ 黒川 幸雄 (64)	平成25年4月	理学療法マネジメント論						
専任補充	専任補充			地域理学療法学 住宅環境論			後任未定			「地域理学療法学」(4年次後期)、「住宅環境論」(4年次前期)は、●●●●が担当することを予定していたが、教員審査の判定が「不可」となったため、科目開設時までに教員審査を受け専任を補充する。(22) 上記(22)は平成23年度も同様(23) 平成24年7月 変更書提出予定 (24)

- (注) ・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(○)学部 (△)学科の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・年齢は、「認可時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成24年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「○年○月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 ・専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

<医療保健学部 理学療法学科>

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
5	4	3	4	16	1	4	3	3	5	15	0	助手△1については、平成25年3月までに補充する予定。(24)
(3)	(1)	(1)	(2)	(7)	(0)	[△1]	[△1]	[0]	[1]	[△1]	[△1]	

(注)・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	教授 (学科長)	●●●●	平成21年11月、本人死亡のため。(22)
2	准教授	●●●●	平成24年3月、一身上の都合により就任辞退。(24)
3	助教	●●●●	平成23年10月、一身上の都合により就任辞退。(24)

(注)・専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>●●●●が担当することになっていたそれぞれの科目については、担当が「可」となっている他の担当教員が対応するなどして認可時の計画どおり全科目を開講していることから、特に支障はないと考える。(22)</p> <p>●●●●、●●●●が担当することになっていたそれぞれの科目については、担当が「可」となっている他の担当教員が対応するなどして認可時の計画どおり全科目を開講していることから、特に支障はないと考える。(24)</p>
--

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

<医療保健学部 作業療法学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	教授(学部長)	ヤマザキ ノブオ 柳澤 信夫 (74)	平成22年4月	フレッシュャーズゼミ 老年医学 医学概論 作業療法卒業研究						
専	教授	ヤマザキ イコ 山崎 郁子 (63)	平成22年4月	フレッシュャーズゼミ コミュニケーション演習 コミュニケーション実習 精神障害作業療法各論Ⅰ(治療技法別) 基礎作業療法技法実習Ⅱ 作業療法卒業研究 心理社会的機能作業療法 評価学演習 作業療法概論	専(学科長)	教授	ヤマザキ イコ 山崎 郁子 (65)	平成24年4月		平成24年4月 前学科長の任期満了により、学科長に就任(24)
専	教授	イタムシロ 生田 宗博 (62)	平成23年4月	身体障害作業療法Ⅰ(神経系) 身体障害作業療法Ⅲ(全身性障害) 身体障害作業療法総論 義肢装具学 地域作業療法Ⅰ(身体障害・老年期障害) 臨床運動学演習 作業療法卒業研究 運動学実習 作業療法概論						
兼任	講師	イタムシロ 生田 宗博 (62)	平成22年9月	作業療法概論						
専	教授	ハノ サトシ 橋野 賢 (62)	平成22年4月	フレッシュャーズゼミ 応用コンピュータⅠ 応用コンピュータⅡ 応用コンピュータ演習Ⅰ 応用コンピュータ演習Ⅱ 作業療法卒業研究						
専	教授	ヤノ カズヨシ 矢野 和義 (43)	平成23年4月	フレッシュャーズゼミ 臨床微生物・免疫学 作業療法研究法 作業療法卒業研究						
兼任	教授	ヤノ カズヨシ 矢野 和義 (43)	平成22年4月	フレッシュャーズゼミ						
専	准教授	オノシマ リュウイチロウ 大島 隆一郎 (48)	平成22年4月	フレッシュャーズゼミ 人間発達学 発達障害作業療法演習Ⅰ 発達障害作業療法演習Ⅱ 地域作業療法Ⅱ(精神障害・発達障害) 臨床講座Ⅰ 臨床講座Ⅱ 作業療法セミナーⅢ 臨床実習Ⅳ(総合実習) 作業療法卒業研究 臨床実習Ⅲ(総合実習) 臨床実習Ⅱ(評価実習)				平成23年9月	臨床見学	平成23年8月 ●●●●助教就任辞退のため、担当科目の追加(24) 平成23年7月教員審査済(24)
専	准教授	コウチ ミドリ 河渕 緑 (53)	平成22年4月	フレッシュャーズゼミ 身体障害作業療法Ⅰ(神経系) 身体障害作業療法Ⅱ(筋骨格系) 身体障害作業療法Ⅲ(全身性障害) 身体障害作業療法Ⅳ(外傷熱傷) 身体障害作業療法Ⅵ(感覚器その他) 職業前関連活動学 作業解析学演習 作業療法卒業研究 身体障害作業療法Ⅴ(老年期障害) 臨床実習Ⅰ(評価実習) 作業療法管理学						

<医療保健学部 作業療法学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	准教授	タマル アキコ 田丸 あき子 (45)	平成24年4月	フレッシュアーズゼミ 身体障害作業療法学Ⅱ (筋骨格系) 身体障害作業療法学Ⅲ (全身性障害) 身体障害作業療法学Ⅳ (外傷熱傷) 身体障害作業療法学Ⅵ (感覚器その他) 職業前関連活動学 臨床講座Ⅰ 臨床講座Ⅱ 作業療法セミナーⅠ 作業療法卒業研究 老年期障害作業療法学 総論 臨床実習Ⅲ(総合実習)	兼任	講師	タマル アキコ 田丸 あき子 (47)	平成24年4月	身体障害作業療法学Ⅲ (全身性障害) 身体障害作業療法学Ⅳ (外傷熱傷) 身体障害作業療法学Ⅵ (感覚器その他) 老年期障害作業療法学 総論	平成24年4月から●●●●が准教授として就任することとなったが、一身上の都合により就任遅延(24) 平成24年度は田丸あき子が兼任講師として授業を担当(24)
専	講師	カシバ ミチ 加柴 美里 (42)	平成22年4月	医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 栄養代謝学						
専	助教	ミツネ マヒロ 光金 正官 (43)	平成23年4月	臨床実習Ⅱ(評価実習) 作業療法セミナーⅡ 作業解析学演習						
専	助教	オキ ミツガ 小貫 貢 (35)	平成23年4月	臨床実習Ⅳ(総合実習) 臨床見学	専	准教授	カイ ヒロミ 酒井 弘美 (52)	平成24年4月	臨床実習Ⅳ (総合実習)	平成23年4月から●●●●が助教として就任することになっていたが、一身上の都合により就任が遅延(23)。 平成23年8月 ●●●●助教が一身上の都合により就任辞退のため、担当者を変更(24) 平成23年7月教員審査済(24)
専	助教	イシハシ ヒトミ 石橋 仁美 (32)	平成22年4月	臨床実習Ⅰ(評価実習) 心理社会的機能作業療法評価学演習	専	准教授	オシマツウイチロウ 大島隆一郎 (50)	平成23年9月	臨床見学	「臨床見学」(2年前期)については、実習先の都合により2年後期に変更(23) 平成23年8月 ●●●●助教が一身上の都合により就任辞退のため、担当者を変更(24) 平成23年7月教員審査済(24)
専	助教	イシハシ ヒトミ 石橋 仁美 (32)	平成22年4月	臨床実習Ⅰ(評価実習) 心理社会的機能作業療法評価学演習	専	助教	ニシノ ユキコ 西野由希子 (36)	平成24年4月	臨床見学 臨床実習Ⅰ (評価実習) 臨床実習Ⅱ (評価実習)	平成24年4月 実習指導体制の充実を図り専任教員(助教)を追加(24) 平成24年1月教員審査済(24)
専	助教	イシハシ ヒトミ 石橋 仁美 (32)	平成22年4月	臨床実習Ⅰ(評価実習) 心理社会的機能作業療法評価学演習	専	助教	イシカワ シンイチ 石川 進一 (35)	平成24年4月	臨床見学 臨床実習Ⅰ (評価実習) 臨床実習Ⅱ (評価実習)	平成24年4月 実習指導体制の充実を図り専任教員(助教)を追加(24) 平成24年1月教員審査済
兼任	教授	ササキ ジュンコ 佐々木 順子 (66)	平成23年4月	公衆衛生学						
兼任	教授	ヤマウチ トモオ 山浦 富雄 (63)	平成22年4月	物理の基礎 数学の基礎 統計学						
兼任	教授	カノウ 洋 加藤 洋 (68)	平成22年4月	人体構造学Ⅰ 人体構造学Ⅱ 解剖学実習Ⅰ 解剖学実習Ⅱ 病理・組織学演習 病理学						
兼任	教授	シノハラ カズヒロ 篠原 一彦 (49)	平成24年4月	医療安全・人間工学概論 先端医療総合講義						
兼任	准教授	ミチヒコカ 宮地 寛登 (39)	平成22年4月	医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 生物の基礎						
兼任	講師	ミナミ ジュンコ 南 順子 (40)	平成22年9月	解剖学実習Ⅰ 解剖学実習Ⅱ						

<医療保健学部 作業療法学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
兼任	講師	シズミ マミ 志水 美文 (37)	平成22年4月	医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 化学の基礎 生理学実習						
兼任	教授	カクラ ケイ 鎌倉 恵子 (63)	平成23年4月	一般臨床医学 神経科学 リハビリテーション医学						
兼任	教授	ナカヤマ タカシ 中山 孝 (52)	平成22年9月	運動学						
兼任	准教授	イシグロ ケイコ 石黒 圭広 (51)	平成23年4月	リハビリテーション工学 運動学実習						
兼任	教授	シノダ ミネ 篠田 肇子 (65)	平成22年4月	精神障害作業療法学総論 精神障害作業療法学各論Ⅱ(疾患・障害別) 心理社会的障害日常生活活動学演習 作業療法研究法 コミュニケーション演習 コミュニケーション実習	専任	准教授	サカイ ヒロミ 酒井 弘美 (52)	平成24年4月	作業療法研究法	平成23年3月 ●●●●兼任・教授が一身上の都合により退職のため。「精神障害作業療法学総論」(2年次)については、平成23年度より岩井和子(兼任・講師)に担当者を変更。(23)他の科目については、科目開設時までに兼任・講師を採用する予定(23)
					兼任	講師	イワイ カズコ 岩井 和子 (61)	平成24年4月	精神障害作業療法学各論Ⅱ(疾患・障害別) 精神障害作業療法学総論	平成23年3月 ●●●●兼任・教授が退職のため平成24年度から担当者を変更(24)
					兼任	講師	ノザキトモ 笹崎都代子 (57)	平成24年4月	心理社会的障害日常生活活動学演習	担当 酒井弘美 准教授 平成23年7月教員審査済(24)
							後任未定		コミュニケーション演習 コミュニケーション実習	「コミュニケーション演習」「コミュニケーション実習」については、他に教授が担当しているため支障はない(24)
兼任	教授	クボ マサヒロ 工藤 昌宏 (58)	平成22年4月	経済学						
兼任	教授	オノ マサヒロ 奥 正廣 (56)	平成22年9月	心理学 コミュニケーション論						
兼任	教授	ヤマカ シンペイ 山岡 俊平 (56)	平成22年9月	基礎作業療法技法実習Ⅰ 基礎作業療法技法実習Ⅱ						
兼任	教授	クロカ シュウイチ 黒川 修一 (53)	平成22年4月	芸術論						
兼任	教授	タカハシ キヨシ 高橋 潔 (53)	平成22年4月	コンピュータリテラシー演習Ⅰ コンピュータリテラシー演習Ⅱ コンピュータ概論Ⅰ コンピュータ概論Ⅱ						
兼任	教授	サカマ ユウジ 佐久間 裕司 (51)	平成22年9月	スポーツ・コンディショニング 集中実技Ⅱ						
兼任	教授	オノキ ヒロユキ 尾崎 弘之 (50)	平成23年9月	医療経済学						
兼任	教授	タナカ スミ 田中 寿美 (47)	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ 英語インテンシブⅠ 英語インテンシブⅡ						
兼任	准教授	オチアイ コウタロウ 落合 浩太郎 (47)	平成22年4月	政治学						
兼任	助教	ヨシカ シンイチ 吉田 真一 (43)	平成24年4月	臨床運動学演習						
兼任	准教授	マツイ タシロ 松井 泰二 (43)	平成22年4月	栄養と健康 集中実技Ⅰ	兼任	講師	アベ ヒサカ 安部 久貴 (32)	平成24年4月	栄養と健康 集中実技Ⅰ	平成24年3月 ●●●●(兼任・准教授)が退職のため、平成24年度より担当者を変更(24)
兼任	講師	ムラカミ ヤスシロウ 村上 康二郎 (38)	平成22年9月	法学						
兼任	講師	サトウ カズエ 佐藤 和恵 (67)	平成23年9月	臨床薬理学						

<医療保健学部 作業療法学科>

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	授業担当科目名
兼任	講師	タカミ ユウジ 垂水 雄二 (67)	平成22年9月	生命倫理						
兼任	講師	トクモト コトヨ 徳元 琴代 (61)	平成22年9月	科学論						
兼任	講師	タケウチ シンイチ 竹内 真一 (54)	平成23年9月	画像評価学						
兼任	講師	ヤマカミ ユリコ 山川 百合子 (52)	平成23年4月	精神医学	兼任	講師	タカハシ マサオ 高橋 正雄 (57)	平成24年4月	精神医学	平成24年3月 ●●●●(兼任・講師)が一身上の都合により辞任のため、平成24年度より担当者を変更(24)
兼任	講師	ナカガキ アキヒロ 中川 明博 (51)	平成22年4月	哲学						
兼任	講師	ニシマキ ショウジ 西巻 丈児 (46)	平成23年9月	倫理学						
兼任	講師	ツカモト ナオコ 塚本 尚子 (45)	平成23年9月	臨床心理学	兼任	講師	キシ タツマ 岸 竜馬 (34)	平成24年4月	臨床心理学	平成24年3月 ●●●●(兼任・講師)が一身上の都合により辞任のため、平成24年度より担当者を変更(24)
兼任	講師	トマヘチ シン 苔米地 伸 (41)	平成23年4月	家族社会学						
兼任	講師	エガリ ジュンイチ 江川 純一 (50)	平成23年4月	宗教学						
兼任	講師	スコット スペンサー Scott Spencer (34)	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ						
兼任	講師	マリナ バイクイスト Marina Byquist (25)	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ						
兼任	講師	ノダ セイジ 野田 雅司 (51)	平成25年9月	医療情報演習						
兼任	講師	カムラ ソウイチロウ 加村 壮一郎 (58)	平成23年4月	整形外科学						
兼任	講師	ススキ ヒサハル 鈴木 文晴 (58)	平成23年9月	小児科学						
兼任	講師	ハマノウエ マコト 浜之上 誠 (46)	平成22年4月	生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学実習						
兼任	講師	カブモト ミツコ 株本 光子 (62)	平成22年9月	文章表現リテラシー	兼任	講師	マツムラユキコ 松村由紀子 (62)	平成22年9月	文章表現リテラシー	平成22年8月●●●●兼任・講師が辞任のため、平成22年9月より担当者の変更(23)
兼任	講師	カガナ ヒロコ 川名 裕子 (33)	平成24年9月	地域作業療法Ⅱ(精神障害・発達障害) 作業療法セミナーⅣ						
兼任	講師	オスキ カズヨ 小貫 量代 (47)	平成22年9月	基礎作業療法技法実習Ⅰ 身体障害作業療法Ⅴ(老年期障害)						
兼任	講師	イシザワ カズエ 石澤 和絵 (33)	平成23年9月	臨床講座Ⅰ 臨床実習Ⅰ(評価実習) 臨床実習Ⅱ(評価実習)						

<医療保健学部 作業療法学科>

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専任補充				地域作業療法学Ⅰ(身体障害・老年期障害) 身体障害作業療法学Ⅳ(外傷熱傷)		専 准教授	サカイ ヒロミ 酒井 弘美 (52) 後任未定	平成24年4月	地域作業療法学Ⅰ(身体障害・老年期障害) 身体障害作業療法学Ⅳ(外傷熱傷) 高次脳機能障害作業療法学 フレッシュヤーズゼミ 運動学実習 作業療法管理学 作業療法学概論 作業療法研究法 作業療法卒業研究 臨床見学 臨床実習Ⅳ(総合実習)	「地域作業療法学Ⅰ」(3年次後期)、「身体障害作業療法学Ⅳ」(3年次後期)は、●●●●が担当することを予定していたが、教員審査の判定が「不可」となったため、科目開設時までに教員審査を受け専任を補充する。(22) 「高次脳機能障害作業療法学」(3年次後期)は、●●●●が担当することを予定していたが、教員審査の判定が「不可」となったため、科目開設時までに教員審査を受け専任を補充する。(22) 上記(22)は平成23年度も同様(23)
専任補充				高次脳機能障害作業療法学						平成24年4月 専任教員(准教授)補充(24) 平成23年7月及び平成24年1月教員審査済(24)

- (注) ・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(○)学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「認可時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成24年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 ・ 専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

<医療保健学部 作業療法学科>

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
5	3	1	3	12	2	5	3	1	4	13	1	助手△1については、平成24年4月から准教授1名を新規に採用していることから、支障はない。なお、平成24年4月就任予定の准教授1名が就任遅延となっているが、平成25年4月に就任する(24)
(4)	(2)	(1)	(1)	(8)	(1)	[0]	[0]	[0]	[1]	[1]	[△1]	

(注) ・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	助教	●●●●	平成23年8月、一身上の都合により就任辞退。(24)
2	准教授	●●●●	一身上の都合により、就任遅延。(24)
3			

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

●●●●(助教)が担当することとなっていた科目については、酒井弘美(准教授)及び大島隆一郎(准教授)がそれぞれ担当し、認可時の計画どおり全科目を開講していることから、支障はないと考える。(24)
●●●●(准教授)が担当することとなっていたそれぞれの科目については、田丸あき子が兼任講師として担当、あるいは担当が「可」となっている他の教員が対応するなどして認可時の計画どおり全科目を開講していることから、特に支障はないと考える。(24)

(注) ・ 上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

<デザイン学部デザイン学科>

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (21年10月)	1. 運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	蒲田と八王子キャンパス間にスクールバスを運行して、学生の課外活動に配慮している。 運行時間 八王子発 9:30 18:00 蒲田着 11:30 20:00 蒲田発 13:00 20:00 八王子着 15:00 22:00 今後も学生の利用状況により継続的に適切な運行時間を検討する。(22) 蒲田キャンパスの学生は、キャンパス内又は近隣の公共施設を利用して課外活動を行っているが、八王子キャンパスの運動施設も利用できるように、事前の申請により、蒲田-八王子キャンパス間でスクールバスを運行することとしている(23) 蒲田キャンパスの学生は、キャンパス内又は近隣の公共施設を利用して課外活動を行っている。学生に対しては八王子キャンパスの運動施設についても周知しており、希望学生からの事前の申請により、蒲田-八王子キャンパス間でスクールバスを運行することとしている。 (24)	
設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月) (24年2月)	該当なし 該当なし		

<医療保健学部>

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (21年10月)	<看護学科> 1. 運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	蒲田と八王子キャンパス間にスクールバスを運行して、学生の課外活動に配慮している。 運行時間 八王子発 9:30 18:00 蒲田着 11:30 20:00 蒲田発 13:00 20:00 八王子着 15:00 22:00 今後も学生の利用状況により継続的に適切な運行時間を検討する。(22) 蒲田キャンパスの学生は、キャンパス内又は近隣の公共施設を利用して課外活動を行っているが、八王子キャンパスの運動施設も利用できるように、事前の申請により、蒲田-八王子キャンパス間でスクールバスを運行することとしている(23) 蒲田キャンパスの学生は、キャンパス内又は近隣の公共施設を利用して課外活動を行っている。学生に対しては八王子キャンパスの運動施設についても周知しており、希望学生からの事前の申請により、蒲田-八王子キャンパス間でスクールバスを運行することとしている。 (24)	

<医療保健学部>

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	<p><臨床工学科></p> <p>1. 運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。</p>	<p>蒲田と八王子キャンパス間にスクールバスを運行して、学生の課外活動に配慮している。</p> <p>運行時間 八王子発 9:30 18:00 蒲田着 11:30 20:00 蒲田発 13:00 20:00 八王子着 15:00 22:00</p> <p>今後も学生の利用状況により継続的に適切な運行時間を検討する。(22)</p> <p>蒲田キャンパスの学生は、キャンパス内又は近隣の公共施設を利用して課外活動を行っているが、八王子キャンパスの運動施設も利用できるように、事前の申請により、蒲田-八王子キャンパス間でスクールバスを運行することとしている(23)</p> <p>蒲田キャンパスの学生は、キャンパス内又は近隣の公共施設を利用して課外活動を行っている。学生に対しては八王子キャンパスの運動施設についても周知しており、希望学生からの事前の申請により、蒲田-八王子キャンパス間でスクールバスを運行することとしている。(24)</p>	
	<p><理学療法学科></p> <p>1. 運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。</p> <p>2. 専任教員の補充を必要とされた2授業科目については、科目開設時までに確実に専任教員を配置すること。</p>	<p>蒲田と八王子キャンパス間にスクールバスを運行して、学生の課外活動に配慮している。</p> <p>運行時間 八王子発 9:30 18:00 蒲田着 11:30 20:00 蒲田発 13:00 20:00 八王子着 15:00 22:00</p> <p>今後も学生の利用状況により継続的に適切な運行時間を検討する。(22)</p> <p>蒲田キャンパスの学生は、キャンパス内又は近隣の公共施設を利用して課外活動を行っているが、八王子キャンパスの運動施設も利用できるように、事前の申請により、蒲田-八王子キャンパス間でスクールバスを運行することとしている(23)</p> <p>蒲田キャンパスの学生は、キャンパス内又は近隣の公共施設を利用して課外活動を行っている。学生に対しては八王子キャンパスの運動施設についても周知しており、希望学生からの事前の申請により、蒲田-八王子キャンパス間でスクールバスを運行することとしている。(24)</p> <p>「地域理学療法学」(4年次後期)、「住宅環境論」(4年次前期)については、それぞれ科目開設時までに専任教員を配置する。(22)</p> <p>「地域理学療法学」(4年次後期)、「住宅環境論」(4年次前期)については、平成23年7月変更書を提出したが不可となった。科目開設時までに専任教員を配置すべく平成24年7月変更書提出予定。(24)</p>	

<医療保健学部>

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	<p><作業療法学科></p> <p>1. 運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。</p> <p>2. 専任教員の補充を必要とされた3授業科目については、科目開設時まで確実に専任教員を配置すること。</p>	<p>蒲田と八王子キャンパス間にスクールバスを運行して、学生の課外活動に配慮している。</p> <p>運行時間 八王子発 9:30 18:00 蒲田着 11:30 20:00 蒲田発 13:00 20:00 八王子着 15:00 22:00</p> <p>今後も学生の利用状況により継続的に適切な運行時間を検討する。(22)</p> <p>蒲田キャンパスの学生は、キャンパス内又は近隣の公共施設を利用して課外活動を行っているが、八王子キャンパスの運動施設も利用できるように、事前の申請により、蒲田―八王子キャンパス間でスクールバスを運行することとしている(23)</p> <p>蒲田キャンパスの学生は、キャンパス内又は近隣の公共施設を利用して課外活動を行っている。学生に対しては八王子キャンパスの運動施設についても周知しており、希望学生からの事前の申請により、蒲田―八王子キャンパス間でスクールバスを運行することとしている。 (24)</p> <p>「地域作業療法学Ⅰ(身体障害・老年期障害)」(3年次後期)、「身体障害作業療法学Ⅳ(外傷熱傷)」(3年次後期)、「高次脳機能障害作業療法学」(3年次後期)については、それぞれ科目開設時まで専任教員を配置する。(22)</p> <p>平成24年4月専任・准教授1名を配置し、すべての科目を開設する。(24)</p> <p>担当 酒井弘美(准教授) 平成23年7月教員審査済 「高次脳機能障害作業療法学」(3年次後期) 平成24年1月教員審査済 「地域作業療法学Ⅰ(身体障害・老年期障害)」(3年次後期)、「身体障害作業療法学Ⅳ(外傷熱傷)」(3年次後期)</p>	
設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月) (24年2月)	該当なし 該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
 - ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

(1) 設置計画変更事項等

<デザイン学部> 「該当なし」

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

<医療保健学部>

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど																
履修科目の登録上限単位数 48単位（年間）	<p>医療保健学部の理念実現のため、専門教育の充実のみでなく、ICT教育をはじめとする基礎教育の履修機会を増やした。</p> <p>履修科目の登録上限単位数 50単位（年間）</p> <p>保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正（平成23年4月施行）に伴い、平成23年4月から、看護師及び保健師国家試験受験資格を修得する者の単位数を改正した。</p> <p>看護学科の卒業要件単位数</p> <table> <tr> <td>基礎教育科目</td> <td>18単位</td> </tr> <tr> <td>専門基礎科目</td> <td>32単位</td> </tr> <tr> <td>専門科目</td> <td>78単位</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>128単位</td> </tr> </table> <p>（看護師国家試験受験資格のみを修得する者）</p> <table> <tr> <td>基礎教育科目</td> <td>18単位</td> </tr> <tr> <td>専門基礎科目</td> <td>35単位</td> </tr> <tr> <td>専門科目</td> <td>82単位</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>135単位</td> </tr> </table> <p>（看護師及び保健師国家試験受験資格を修得する者）</p>	基礎教育科目	18単位	専門基礎科目	32単位	専門科目	78単位	計	128単位	基礎教育科目	18単位	専門基礎科目	35単位	専門科目	82単位	計	135単位
基礎教育科目	18単位																
専門基礎科目	32単位																
専門科目	78単位																
計	128単位																
基礎教育科目	18単位																
専門基礎科目	35単位																
専門科目	82単位																
計	135単位																

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<デザイン学部><医療保健学部>

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成22年度までは、学長室を中心として東京工科大学学長室会議（以下「学長室会議」）と連携して、全学的なFDに取り組んできたが、平成23年度からは、全学的な委員会として「FD委員会」を設置した。

平成23年度からは、「学長室会議」を「東京工科大学企画推進会議」（以下「企画推進会議」）と改め、教員の資質維持・向上を含め全学的な諸改革の推進について検討を行った。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

・企画推進会議は、原則として月2回開催し、学長、研究科長、各学部長、学長補佐、教務部長、学生部長、事務局長、学長室長で構成している。

・平成22年度は、全15回開催し、欠席教員は4名とほぼ全員出席のもと会議を開催することができた。

・平成23年度は、企画推進会議を11回、FD委員会（教務部長、学生部長、各学部から1名、研究科から1名、学長室、事務局職員で構成）を3回開催し、欠席教員数は企画推進会議で延べ9名、FD委員会では延べ4名とほぼ全構成員出席のもとで開催することができた。

c 委員会の審議事項等

企画推進会議では、別に組織している教育力強化委員会からの報告を受け、FDに関する様々な取組み（教員相互の授業参観、ティーチングレポートの活用）について審議してきた。

FD委員会においては、基本的には企画推進会議における審議事項を継承するとともに、一層の内容充実やSDを含む新たな企画について審議することとしている。

平成23年度に設置したFD委員会では、FD・SDとして開催している全学教職員会において、教育力向上に関わる教育方針や教職員が共通して認識しておくべき事項等、全学教職員会の運営に関する事項を中心に審議を行った。

また、企画推進会議においては、FD委員会や教員相互の授業点検について検討している教育力強化委員会からの報告を基に、教育全般に関する事項を中心に審議を行った。

② 実施状況

a 実施内容

- ・教員相互の授業参観（授業点検・評価）
- ・授業評価アンケート
- ・新任教員研修会
- ・全学教職員会
- ・アゴラ

b 実施方法・開催状況（教員の参加状況含む）

- ・教員相互の授業参観

デザイン学部及び医療保健学部では、平成22年度後期から各学部2科目の授業参観を実施した。実施については、学部長、教務委員等数名の教員で授業評価表をもとに客観的な評価を行った。

平成23年度においては、デザイン学部で前期3科目、後期3科目、医療保健学部で前期4科目、後期4科目の授業点検を実施した。実施方法としては、前述の学部長、教務委員会委員等数名の教員による客観的評価を基に当該教員との面談を実施することにより、即効性のある授業改善を目指している。

- ・新任教員研修会

毎年、デザイン学部及び医療保健学部の全教員及び助手を対象に実施し、学長から、本学の理念・目標の共有や教育研究に関する事項について研修会を実施している。

実施状況は、以下のとおりである。

平成22年度 4月1日、2日（両日とも全員参加）

平成23年度 4月1日（全員参加）

平成24年度 4月3日（全員参加）

・全学教職員会

平成22年度4月に第1回全学教職員会を「2キャンパスの大学運営及び今後の重要課題」というテーマで開催した。第2回目以降は「学生のメンタルヘルス」「学生サポート」等をテーマに全9回開催し、デザイン学部及び医療保健学部の教員の90%が参加した。

平成23年度は、「アクティブラーニング」、「就業力育成」を主眼として全10回開催した。

内容としては、本学として取り組むべき課題等を共用するため、外部講師を招いて「アクティブラーニングについて」、「総合カラーニング」、「就業力をどう育成するか」、「キャリア形成支援から就職支援へ」と題した講演も開催した。

全10回の全学教職員会にはデザイン学部及び医療保健学部で80%以上の参加率となっている。

・授業評価アンケート

平成22年度は、当初の予定どおりデザイン学部及び医療保健学部の前期・後期開講科目について授業評価アンケートを実施した。

平成23年度においても、当初の予定どおり授業評価アンケートを実施した。

実施結果については、当該教員にフィードバックすることより、教員自らの授業改善に資することとしている。

・アゴラ

教育・研究の討論の場として、各学部で全教員を対象としたアゴラを月1回開催している。

平成22年度はデザイン学部で6回、医療保健学部で5回アゴラを開催し、主に教育に係わる討論を行った。

平成23年度は、デザイン学部及び医療保健学部ともに7回のアゴラを開催した。

両学部とも、授業改善に向けた討議に加え、学年進行が進んでいることもあり、就職支援等についても討論した。

c 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

既設学部で行なっている教員相互の授業参観では、評価結果をまとめ全学教職員会で全教職員に報告し、授業改善に向けてのディスカッションを行なった。その際の反省点を踏まえて、授業点検項目等の見直しを行なっている。

平成22年度後期から、デザイン学部及び医療保健学部においても既設学部で行なっている教員相互の授業参観を実施し、授業改善に向けての検討を開始した。

平成23年度は、デザイン学部及び医療保健学部において当初の予定どおり授業評価と授業点検を実施し、学生、教員双方からの評価を基にした授業改善について検討することができた。

特に評価の低い教員については、改善点等を指導することにより、効果的な授業改善を検討できる機会となっている。

本学としては、授業の方法としてアクティブラーニングやPBLを推進している。学生参加型の授業の実施について引き続き検討する。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<デザイン学部><医療保健学部>

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

「デザイン学部」では、デザイン教育の原点である感性教育に重点をおき、さらに21世紀型社会が求めるスキル教育を行い、それらを融合した新しいデザイン教育を行う。幅広い分野を修得する独自のカリキュラム体系の中で、デザインの総合性や横断的な思考を身につけ、21世紀型未来デザインを目指して、新しい人間の「すがた・かたち」「しくみ・しかけ」を創出することを目的として、視覚、映像、空間を対象としたデザイン分野を中心に21世紀型生活創造者の育成を行なう。

デザイン学部デザイン学科は、「視覚と伝達」「映像と構成」「空間と演出」という3コースからなる1学部1学科3コースとした。

科目区分は、基礎教育科目と専門教育科目とし、卒業要件は124単位とする。

デザイン学部は、上記の設置の趣旨を踏まえ、3コースの特色を活かした実践教育の目的を達成すべく、1年次の教育を開始すると共に、2年次以降の準備を進めている。

平成23年度は、1・2年次の「感性演習I・II」及び2年次の「スキル演習I」を行った。3年次の「専門演習I・II」について、感性演習で習得した基礎的な感性表現力や手法に、スキル演習で習得した技術を融合させ、デザインの専門分野となる視覚、映像、空間を横断的に学べるような演習内容を検討した。

「医療保健学部」では、自立した医療職として専門的知識、技術に加えて、患者という人生経験豊かで病を得ている人に対応できる人間として優れた人格と社会的視野を有する社会人であることが強く求められていることから、これらの人材を育成する。

看護師、保健師、リハビリテーションにおける理学療法士、作業療法士及びこれからの医療機器管理の技術者としての臨床工学技士の需要は一層増加し、しかもこれからの医療専門職の育成には、従来の専門学校における教育を超えた大学教育がより望ましい現状にある。

医療保健学部は、看護学科、臨床工学科、理学療法学科、作業療法学科の4学科を設置した。

科目区分は基礎教育科目、専門教育科目、専門科目とし、卒業要件単位数は各学科とも128単位とする。各医療職の国家試験受験資格に定められたすべての必修科目等を修了し、単位を修得することも卒業要件とする。

また、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正（平成23年4月施行）に伴い、平成23年4月から、看護師及び保健師国家試験受験資格を修得する者の卒業要件単位数を135単位とした。

医療保健学部は、上記の設置の趣旨を踏まえ、看護学科、臨床工学科、理学療法学及び作業療法学科において、各々の学科の特色を活かした実践教育の目的を達成すべく1・2年次の教育運営と共に、3年次以降の準備を進めている。

平成23年度は、医療保健学部各学科における2年次の短期間の臨地・臨床実習が始まった。また、3年次の長期間の実践的な実習に向けて、学生への事前指導や施設との連携を行い、実習指導者会議の開催に向けて準備を行った。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成25年3月1日 公表

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、他大学等に各1冊を配布
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成25年3月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成26年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ()
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス

(http://www.teu.ac.jp/ap_page/koukai/3-1.pdf)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。